

ハタラクティブ 若者しごとと白書 2024



PRODUCED BY **Leverages**

若者しごと白書 2024

はじめに	3
------	---

01. 就業状況について

1-1. 現在就業している職種	4
1-2. 平均労働日数・時間（フリーター）	7
1-3. 正社員の仕事を辞めた理由	8
1-4. 就職してから退職までの期間（フリーター）	9
1-5. フリーターになったきっかけ	10
1-6. フリーターを続けている理由	11
1-7. 現在の仕事に就いた理由	12
1-8. 手取り月収の分布（フリーター）	13
1-9. 手取り月収の分布（正社員）	14
1-10. 賃上げの有無と額	16

02. 現在の仕事について

2-1. 仕事のやりがい	17
2-2. 現在の仕事の満足度	18
2-3. 仕事に満足している理由	19
2-4. 仕事に満足していない理由	21
2-5. 仕事で一番大切にしている価値観	23
2-6. 仕事選びで重視していること	25
2-7. 仕事選びで妥協できること	27

03. 就職活動・転職活動について

3-1. 現在、就職活動をしているか（フリーター）	28
3-2. 現在、転職活動をしているか（正社員）	29
3-3. 過去に就職活動・転職活動をしたことがあるか	30
3-4. 就職活動・転職活動を始めたきっかけ	31
3-5. 就職・転職を希望するタイミング	32
3-6. 企業探し的手段・利用サービス	33
3-7. 就職活動・転職活動の情報収集の方法	35
3-8. 就職活動・転職活動を始める際の相談相手	37
3-9. 内定後の相談相手	38
3-10. 就職活動・転職活動を始めるときの不安度	39
3-11. 就職活動・転職活動における選考中の不安度	41
3-12. 転職活動で辞退する要因となるもの	43

若者しごと白書 2024

04. 今後のキャリアについて

4-1. 将来的に正社員を希望するか	……… 44
4-2. いつ頃までに正社員になりたいか	……… 45
4-3. 正社員になりたい理由	……… 46
4-4. 正社員になりたくない理由	……… 48
4-5. 将来的に転職を検討しているか	……… 50
4-6. いつ頃までに転職したいか	……… 50
4-7. 転職したい理由	……… 51
4-8. 転職したくない理由	……… 53
4-9. 将来希望する雇用形態（正社員）	……… 54

05. 副業状況について

5-1. 現在の副業状況について	……… 55
5-2. 副業の内容	……… 56
5-3. 副業する理由	……… 57
5-4. 副業の平均月収	……… 57

06. リスキリングについて

6-1. リスキリングの認知度	……… 58
6-2. リスキリングに取り組んでいるか	……… 59
6-3. リスキリングに取り組む理由	……… 60
6-4. リスキリングで身につけたいスキル	……… 61
6-5. リスキリングに取り組んでいない理由	……… 62
6-6. リスキリングして良かったこと	……… 63

はじめに

フリーター※・既卒・第二新卒向け就職支援サービス「ハタラクティブ」では、18歳～29歳のフリーターと正社員を対象に、働き方やキャリアに関する調査を行いました。

本レポートでは、フリーター・正社員の就職軸や仕事の価値観、今後のキャリア観などについてまとめています。資料はPDFでダウンロード可能ですので、若年層・非正規雇用・キャリアに関する資料としてぜひご活用いただけますと幸いです。

なお、本調査の調査概要は最終ページをご覧ください。

※このレポートでは、アルバイト・パートタイマーで生計を立てている、もしくはアルバイト・パートタイムで働く意思のある無職の人をフリーターと定義する。

01 就業状況について

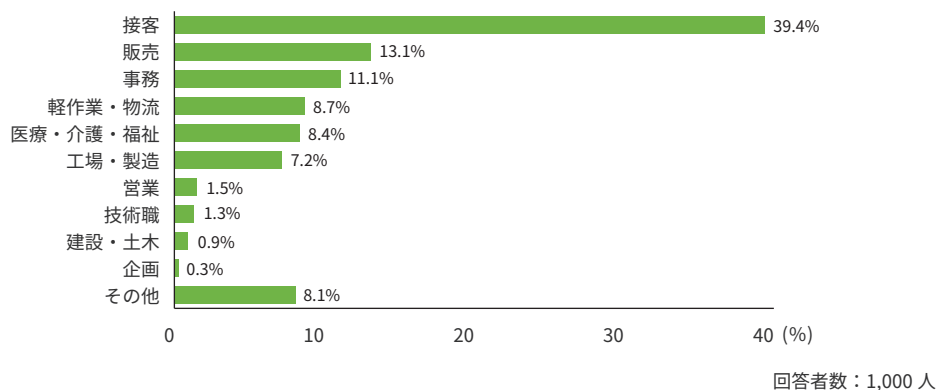
1-1. 現在就業している職種

フリーター・正社員の就業中の職種は、フリーターは「接客業」が約4割を占め、正社員は「事務」が27.1%で最も高い割合を占めています。正社員は、事務に次いで、「技術職」や「工場・製造業」、「医療・介護・福祉」が多く、フリーターに比べると結果はなだらかです。

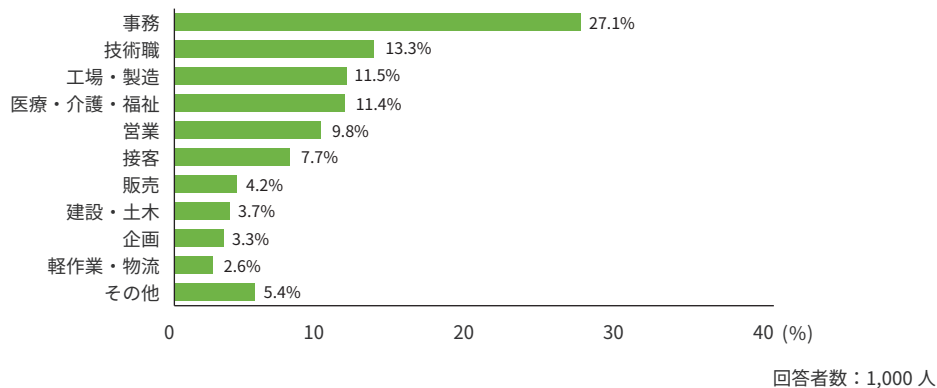
また、「営業」「技術職」「建設・土木」「企画」に従事するフリーターの割合は、正社員と比べて低い結果になっています。

「その他」の回答としては、正社員では「公務員」や「教育関係」、フリーターでは「保育」が多く見られました。

現在就業している職種【フリーター】



現在就業している職種【正社員】



現在就業している職種【男女別】

職種を男女別で見ると、フリーターの場合1位は「接客業」で男女ともに同じ結果となりました。正社員の場合は男性は「技術職」が、女性は「事務」がそれぞれ1位になっています。

「医療・介護・福祉」は男性が就業している職種では上位5位に見られませんが、女性フリーターでは4位、女性正社員では2位に見られ、女性が働いている割合が高いことがわかります。また、「事務」も女性が就業している割合が高い職種と言えます。

現在就業している職種【男女別】

男性フリーター

- 1位 接客 (31.9%)
- 2位 軽作業・物流 (15.7%)
- 3位 販売 (14.3%)
- 4位 工場・製造 (8.1%)
- 5位 事務 (7.1%)

回答者数：210人 ※5位まで抜粋

女性フリーター

- 1位 接客 (41.4%)
- 2位 販売 (12.8%)
- 3位 事務 (12.2%)
- 4位 医療・介護・福祉 (9.2%)
- 5位 工場・製造 (7.0%)

回答者数：790人 ※5位まで抜粋

男性正社員

- 1位 技術職 (21.6%)
- 2位 工場・製造 (17.4%)
- 3位 事務 (16.0%)
- 4位 営業 (11.4%)
- 5位 建設・土木 (5.4%)

回答者数：500人 ※5位まで抜粋

女性正社員

- 1位 事務 (38.2%)
- 2位 医療・介護・福祉 (18.0%)
- 3位 接客 (10.6%)
- 4位 営業 (8.2%)
- 5位 工場・製造 (5.6%)

回答者数：500人 ※5位まで抜粋

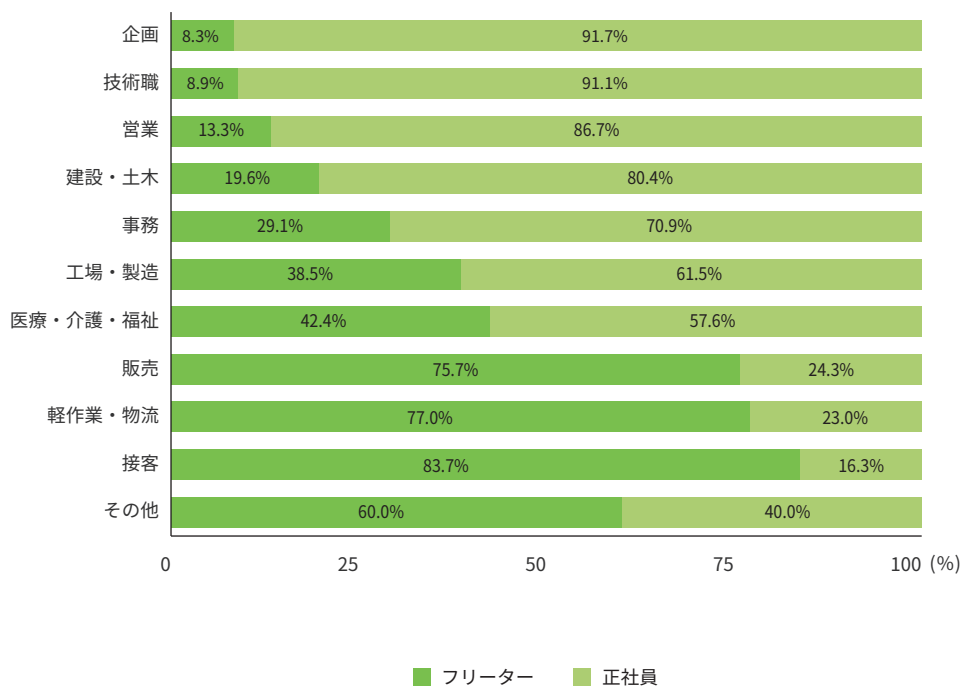
職種別フリーターと正社員の就業割合

職種別にフリーターと正社員の就業割合を見ると、「接客業」「軽作業・物流」「販売」はフリーターの割合が高いことがわかります。「企画」「技術職」「営業」は正社員の割合が高く、フリーターで従事している人は1割程度でした。

一般的にスキルや専門知識が求められる職種は正社員の割合が高い一方で、「接客業」などの未経験でも入りやすいといわれる職種※ではフリーターの比率が高い傾向にあります。

※厚生労働省，職業情報提供サイト job tag (<https://shigoto.mhlw.go.jp/User/OccupationsEasy>)

【職種別】フリーターと正社員の割合

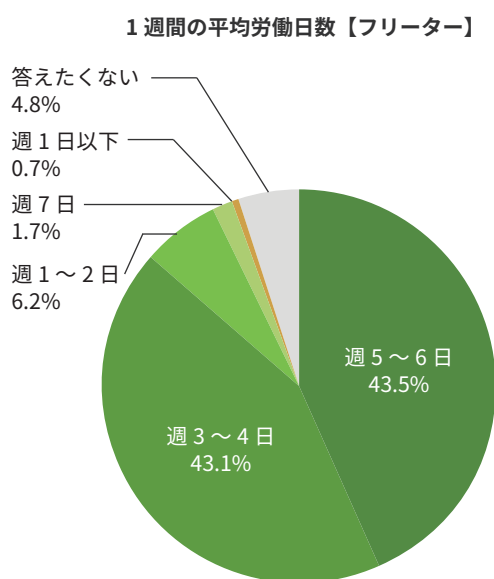


回答者数：フリーター 1,000 人、正社員 1,000 人

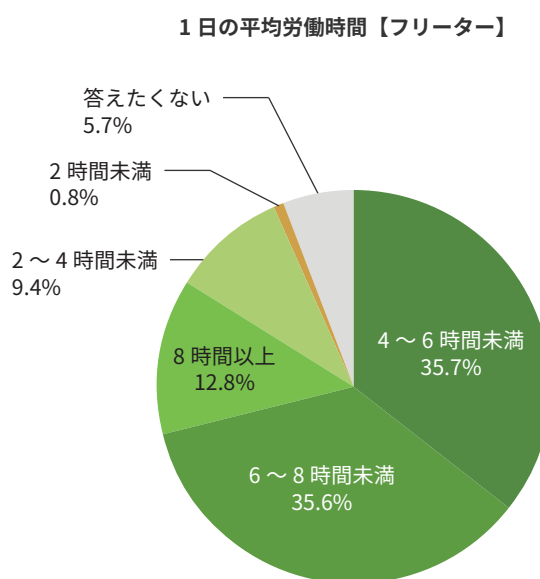
1-2. 平均労働日数・時間（フリーター）

フリーターの週の平均労働日数でもっとも多かったのは、「週5～6日」。1日あたりの労働時間は「4～6時間未満」「6～8時間未満」で7割を占めています。

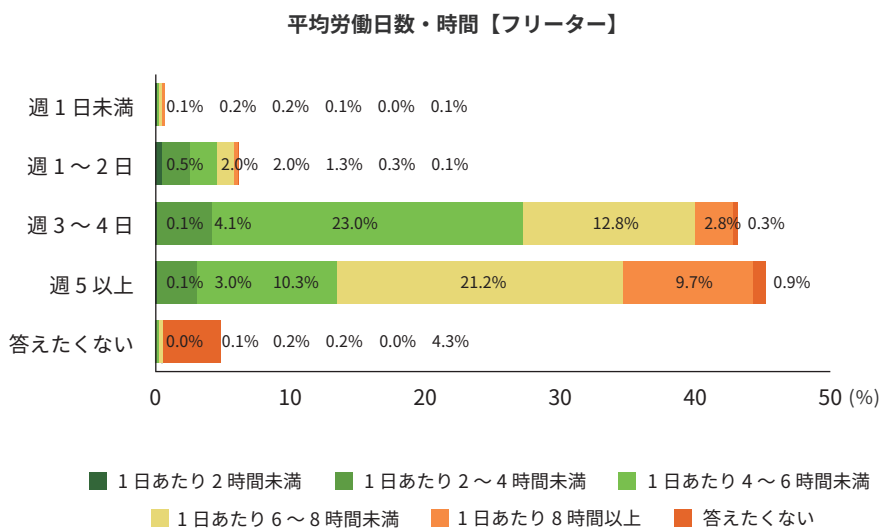
「週3～4日×4～6時間」の回答が2割程度と1番多く、次いで「週5日以上×6～8時間」「週3～4日×6～8時間」「週5日以上×4～6時間」の結果となりました。



回答者数：1,000人



回答者数：1,000人



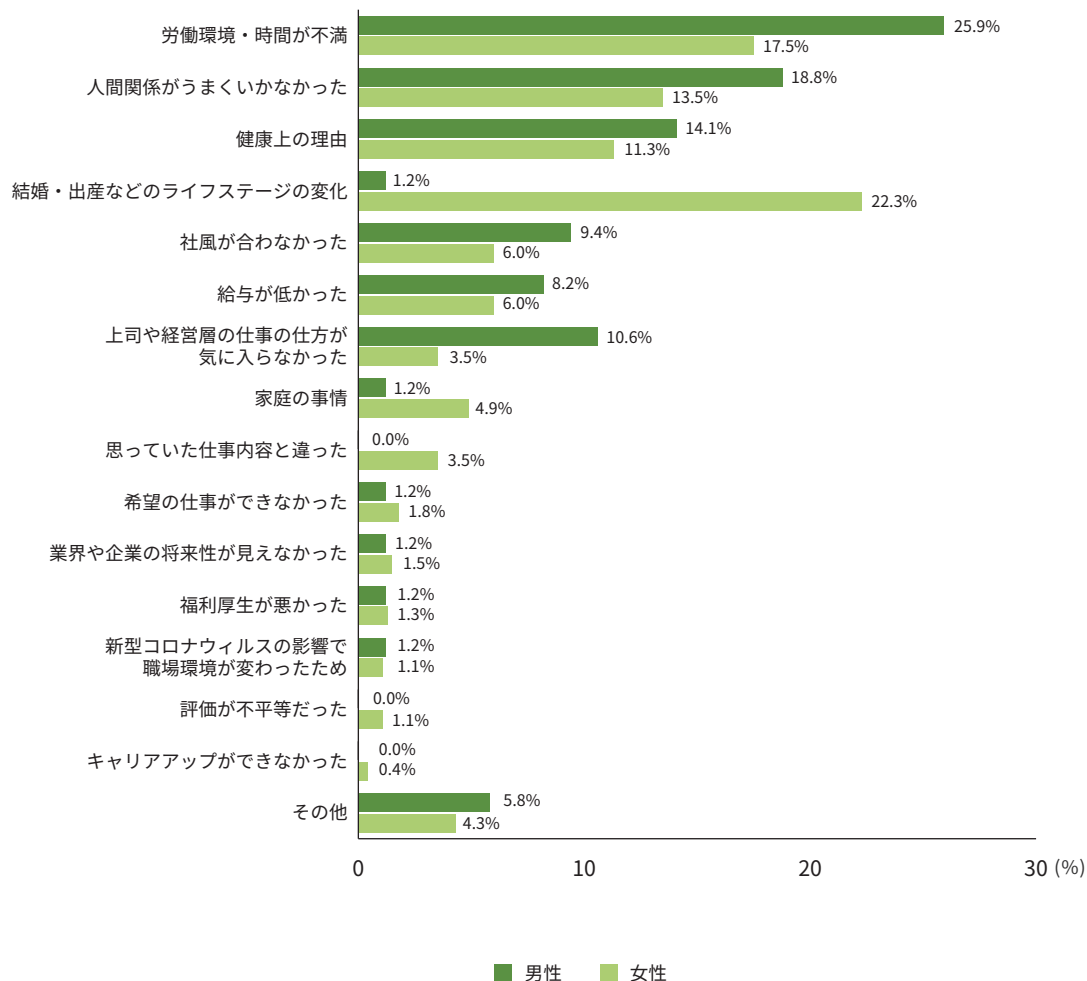
回答者数：1,000人

1-3. 正社員の仕事を辞めた理由

正社員経験があるフリーターに、正社員の仕事を退職した理由を尋ねると、男女ともに「労働環境・時間」や「人間関係」「健康上の理由」といった回答が多く見られました。「社風が合わなかった」「給与が低かった」も、会社を辞める理由として一定の割合を占めています。

女性は「結婚・出産などのライフステージの変化」を、男性は「上司や経営層の仕事の仕方が気に入らなかった」という理由を挙げる方が多く、退職した理由には男女差が見られます。

正社員の仕事を辞めた理由【男女別】

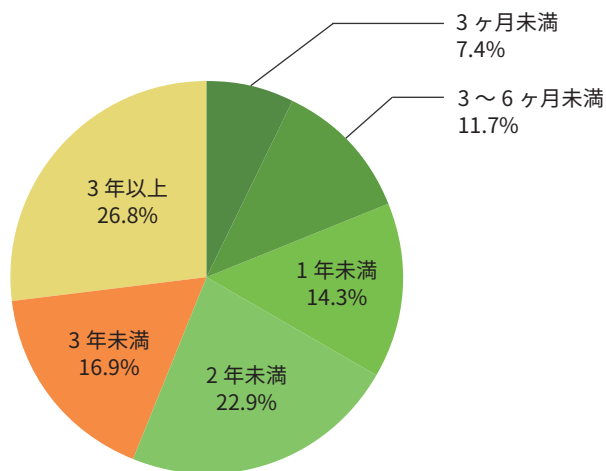


回答者数：男性 85 人、女性 452 人

1-4. 就職してから退職までの期間（フリーター）

正社員経験のあるフリーターのうち、およそ5人に1人が就職してから半年で退職しています。また、3年未満で退職するいわゆる「早期離職」が全体の約75%を占めています。

退職までの期間【フリーター】



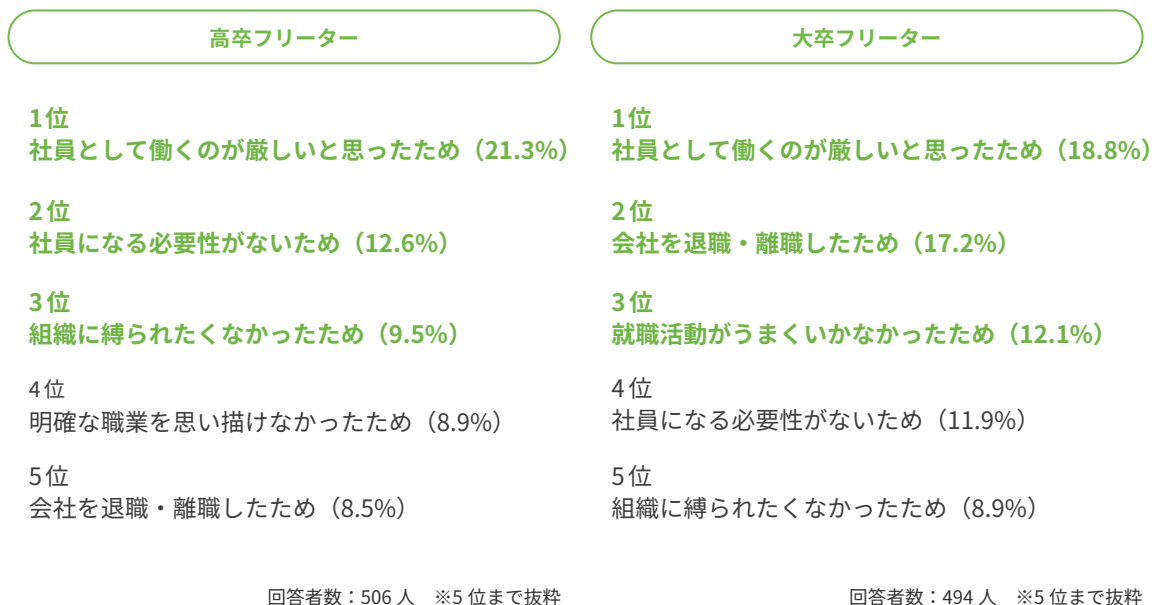
回答者数：537人

1-5. フリーターになったきっかけ

フリーターになったきっかけとしては、高卒フリーター・大卒フリーターともに、「社員として働くのが厳しいと思ったため」がもっとも多い結果となりました。大卒フリーターは「就職活動がうまくいかなかったため」といった回答も多く見られ、高卒フリーターとの違いが見られます。

その他の回答として高卒フリーター・大卒フリーターともに「社員として求められるスキルがなかったため」や、「結婚・出産のため」「育児のため」といった子供に関する理由、「うつなどの病気のため」「持病のため」など健康上の理由も。また、「ニートから正社員になるまでのつなぎのため」「資格取得のため」といった今後のキャリアをふまえた回答も見られました。

フリーターになったきっかけ



1-6. フリーターを続けている理由

フリーターを続けている理由を尋ねると、学歴別では1位・2位の結果に違いはないものの、3位以降に差異が見られました。大卒フリーターの場合、「1-4. フリーターになったきっかけ」と同様に、「就職活動がうまくいかないから」が理由として挙げられています。

「その他」の回答では、学歴問わず、「社員登用のため」や「資格を取得するため」といったキャリアアップのためといった回答や「今の仕事が好きのため」といった回答が見られました。

フリーターを続けている理由

高卒フリーター	大卒フリーター
1位 社員として働くのが厳しいと思ったから (22.9%)	1位 社員として働くのが厳しいと思ったから (19.8%)
2位 社員になる必要性がないから (15.4%)	2位 社員になる必要性がないから (15.4%)
3位 組織に縛られたくないから (9.7%)	3位 就職活動がうまくいかないから (10.5%)
4位 家庭の経済事情やトラブルのため (8.9%)	4位 組織に縛られたくないから (8.5%)
5位 明確な職業を思い描けないから (7.7%)	5位 芸能関係やフリーランスに就きたいから (7.7%)
回答者数：506人 ※5位まで抜粋	回答者数：494人 ※5位まで抜粋

1-7. 現在の仕事に就いた理由

現在の仕事に就いた理由は下記の結果になり、フリーター・正社員ともに「仕事内容」を重視していることがわかりました。

フリーターは仕事内容のほか「労働時間」や「休日数」が上位に挙がりました。「1-2. 平均労働日数・時間（フリーター）」では「週3~4日 × 4~6時間」の働き方をしているフリーターが最も多かったことから、フリーターは「体力的に無理なく働ける環境」や「自分の優先したいことを優先できる環境」を求めていることが予想されます。

「仕事内容」を選んだ割合は、正社員の方がフリーターよりも7pt程度高く、正社員の3人に1人が重視していることがわかりました。「最初に内定がもらえたから」が8.8%を占め、2位にランクインしました。1社目に受け取った内定に対する思い入れや、就職活動をこれ以上長引かせたくない気持ちが、内定承諾の決め手になったことが考えられます。

現在の仕事に就いた理由

フリーター	正社員
1位 希望する仕事内容だったため (23.6%)	1位 希望する仕事内容だったため (31.0%)
2位 希望の労働時間で働けるため (19.7%)	2位 最初に内定をもらえたため (8.8%)
3位 希望の勤務地で働けるため (10.0%)	3位 福利厚生が整っているため (8.4%)
4位 理想的な勤務時間や休日数だったため (9.6%)	4位 希望する収入が得られるため (7.6%)
5位 自分のスキルや経験を活かせるため (6.0%)	5位 希望の勤務地で働けるため (7.4%)

回答者数：1,000人 ※5位まで抜粋

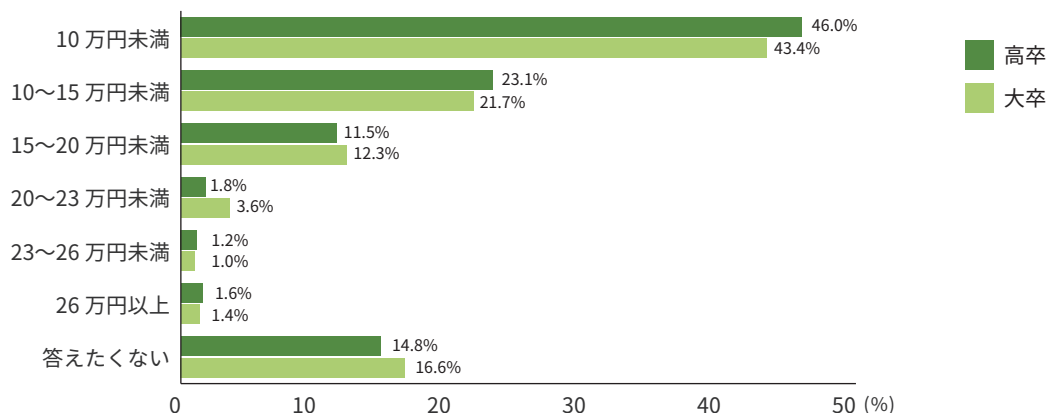
回答者数：1,000人 ※5位まで抜粋

1-8. 手取り月収の分布（フリーター）

フリーターの手取り月収の分布【学歴別】

フリーターの手取り月収は、高卒・大卒どちらも「7～10万円未満」が最も多いことがわかりました。また、高卒・大卒の平均手取り月収分布は類似しており、フリーターの場合学歴による収入差は少ないといえます。

フリーターの手取り月収の分布【学歴別】

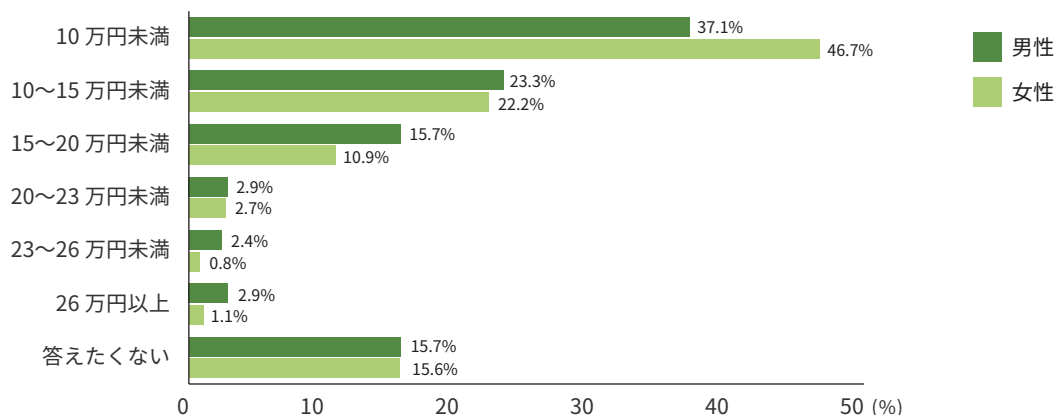


回答者数：高卒 506 人、大卒 494 人

フリーターの手取り月収の分布【男女別】

男女別に分けてみると、女性フリーターは「10万円未満」の回答が半数近く占める結果になりました。男性フリーターは「10万円未満」が37.1%、次いで「10～15万円」、「15～20万円」と女性フリーターと比べてばらつきが少ないです。

フリーターの手取り月収の分布【男女別】

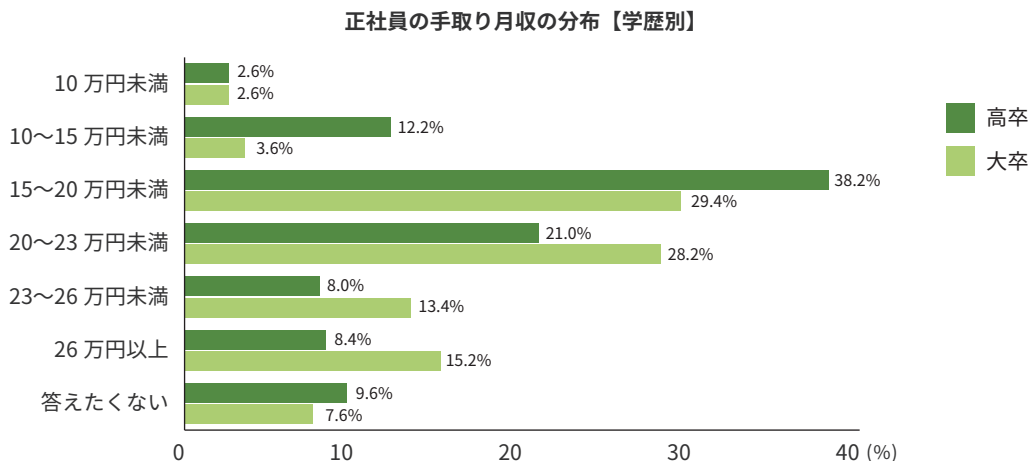


回答者数：男性 219 人、女性 790 人

1-9. 手取り月収の分布（正社員）

正社員の手取り月収の分布【学歴別】

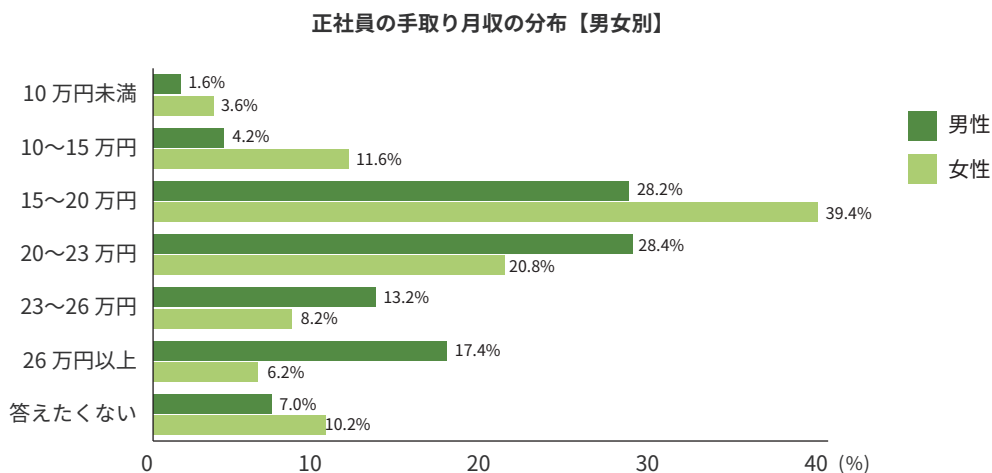
正社員の平均手取り月収は、フリーターの額を上回り「15～20万円未満」が最多の割合になっています。学歴別に比較すると給与水準は大卒のほうが高くなっていて、大卒者が比較的高い給与を得る機会があることを示唆しています。



回答者数：高卒 500 人、大卒 500 人

正社員の手取り月収の分布【男女別】

正社員の平均手取り月収を男女別に見ると、女性正社員は「15～20万円未満」が4割近くを占め最多という結果に。男性正社員は「20～23万円未満」が最多の結果になり、男女間で差異がある事がわかります。手取り月収が26万円以上を超えている割合も、男性正社員は女性正社員より10ポイント以上高く、平均手取り月収に差があることがわかります。

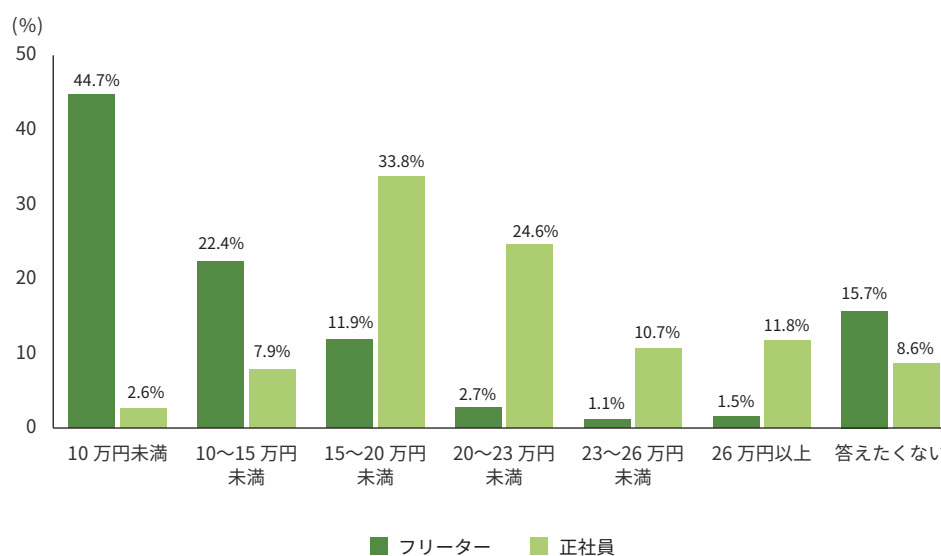


回答者数：男性 500 人、女性 500 人

雇用形態別手取り月収の分布

平均手取り月収を雇用形態別に見ると、フリーターは10万円以下の割合が最多なのに対し、正社員は最少の結果になっています。これは、フリーターの場合、比較的低い収入層が多い一方で、正社員の方が給与が安定していることを示唆しています。雇用形態による収入格差が鮮明であり、正社員の方が高い収入を得る傾向があることがうかがえます。

雇用形態別手取り月収の分布



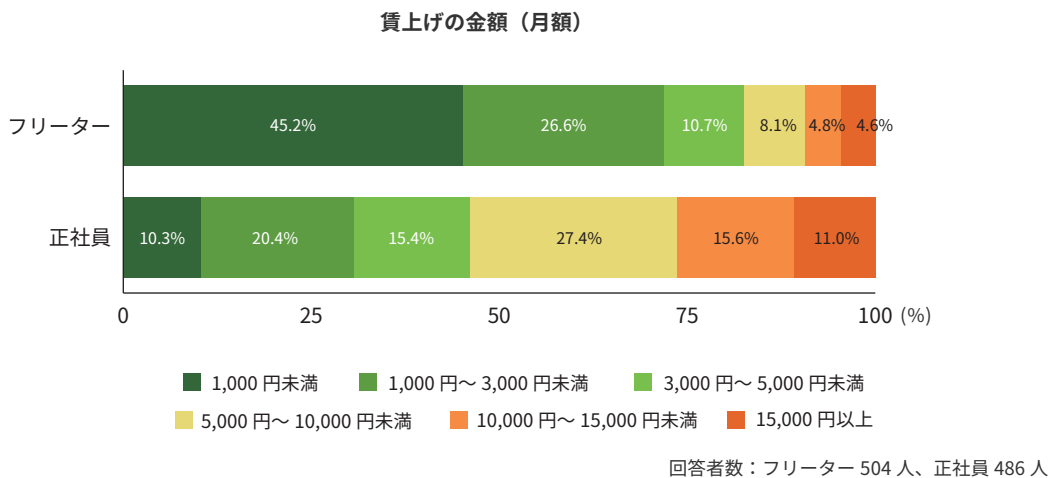
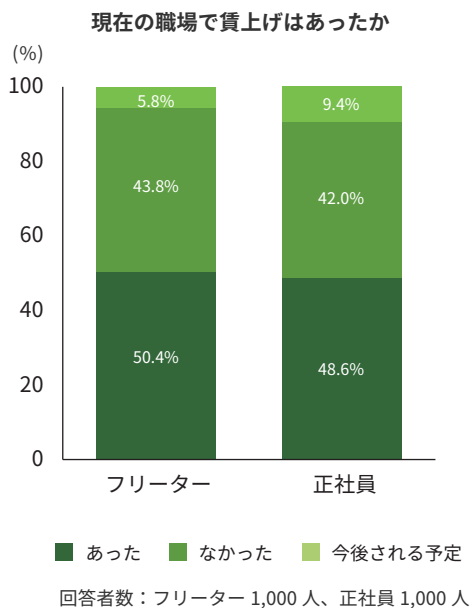
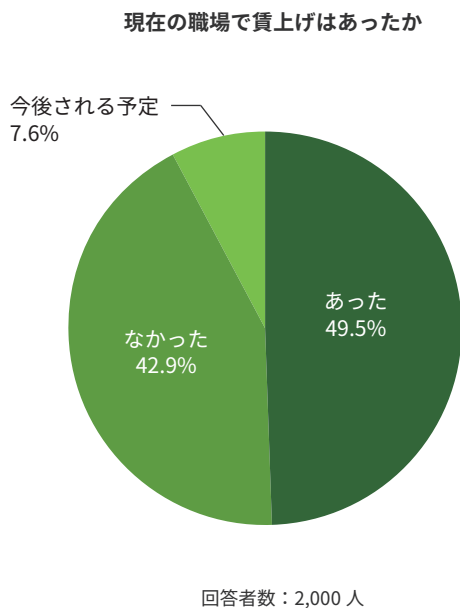
回答者数：フリーター 1,000 人、正社員 1,000 人

1-10. 賃上げの有無と額

現在の職場で賃上げがあったか聞くと、全体の半数近くの人が、現在の職場で賃上げがあったと回答しました。

フリーター・正社員で比べると、フリーター・正社員いずれも賃上げが実施されている割合にあまり差は見られませんでした。フリーターは2023年度に実施された最低賃金の引上げ、正社員は働き方改革における賃上げの働きかけが影響していることが考えられます。

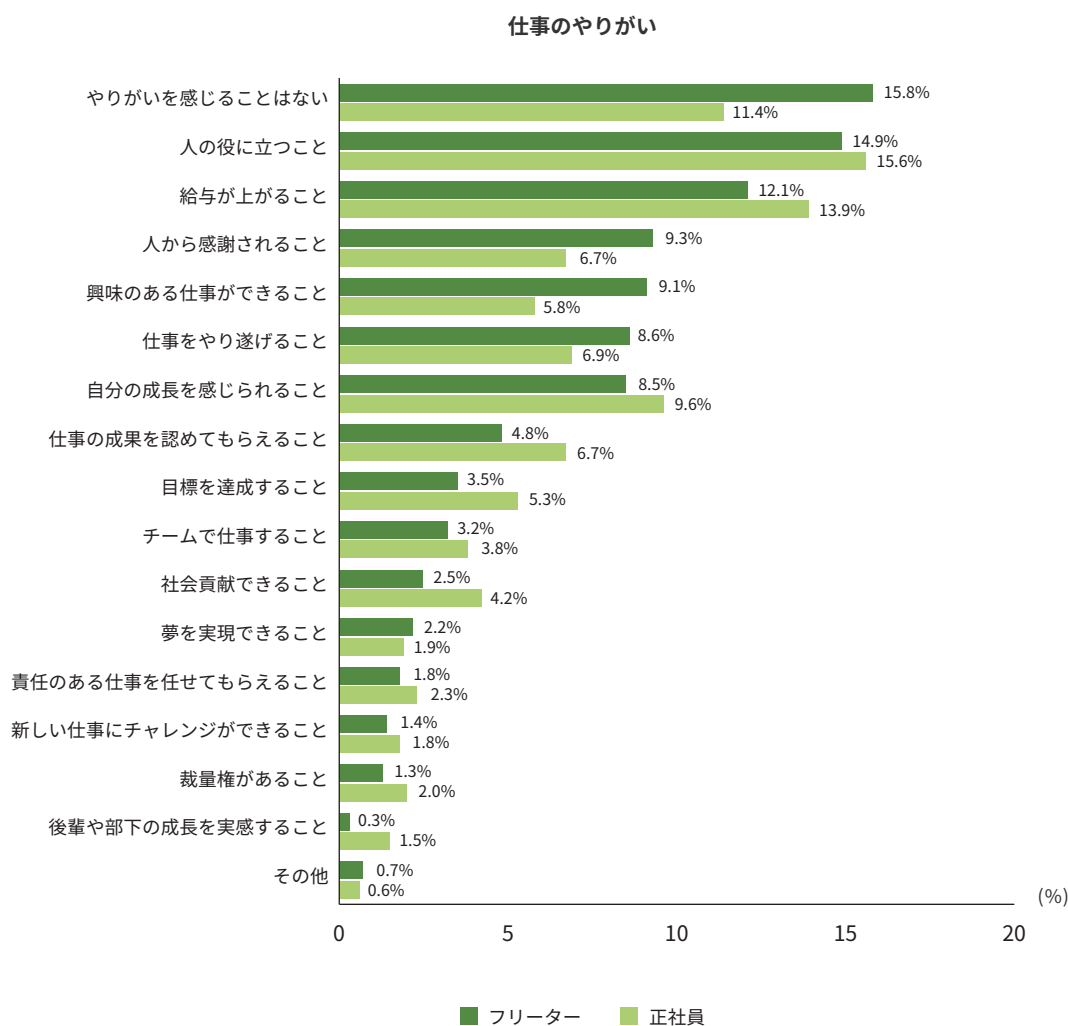
一方、賃上げの金額はフリーターと正社員で大きな差がありました。フリーターは1,000円未満が4割ほどで最多の回答だったのに対して、正社員は5,000円～10,000円の割合が3割近くあり、最多でした。フリーターと比べ正社員の方が大幅に月収が上がったことがわかります。



02 現在の仕事について

2-1. 仕事のやりがい

仕事で一番やりがいを感じることはなにかの質問に対して、フリーターは「やりがいを感じることはない」という回答が最多、2位が「人の役に立つこと」となりました。一方、正社員は「人の役に立つこと」がもっとも多く、次いで「給与が上がること」が挙げられています。

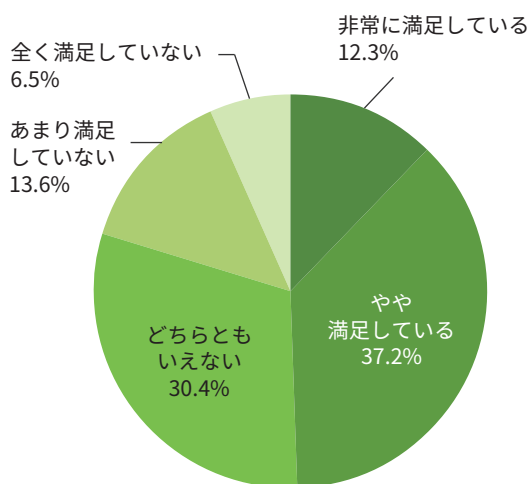


回答者数：フリーター 1,000 人、正社員 1,000 人

2-2. 現在の仕事の満足度

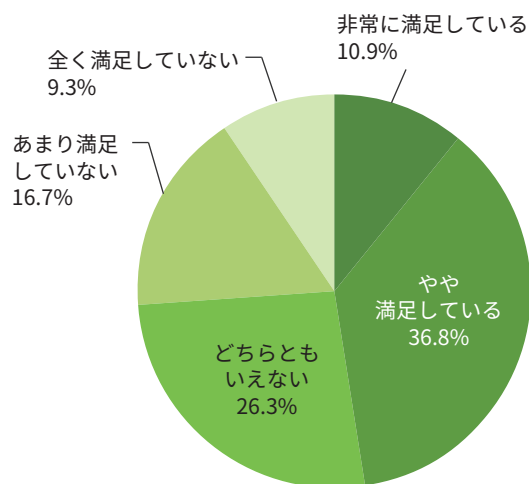
半数近くの人が現在の仕事に満足しているとの結果に。フリーターと正社員どちらも「やや満足している」が最も多く、全体の3割以上を占める結果になっています。一方、「満足していない」と回答する割合はフリーターと比べ、正社員の方がやや高い傾向があります。

現在の仕事の満足度【フリーター】



回答者数：1,000人

現在の仕事の満足度【正社員】



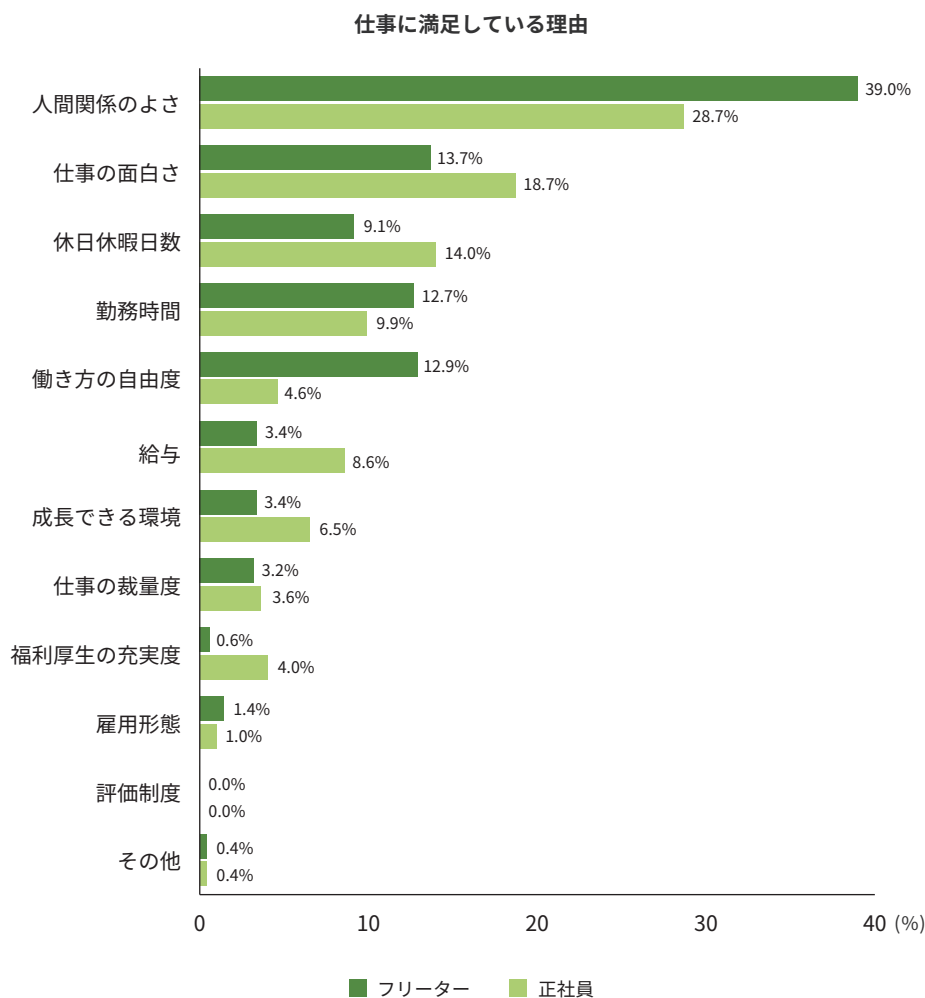
回答者数：1,000人

2-3. 仕事に満足している理由

現在の仕事に「非常に満足している」「やや満足している」と回答したフリーターと正社員に対し、その理由を尋ねると、フリーター・正社員ともに「人間関係のよさ」が最多となりました。ただ、4割近くのフリーターが仕事に満足している理由として「人間関係のよさ」を挙げているのに対し、正社員は3割ほどで、10pt以上差があります。正社員では「仕事の面白さ」や「休日休暇日数」などを満足している理由に挙げる割合も高く、回答結果にはばらつきが見られます。

また、フリーター・正社員いずれも「仕事の面白さ」が2位であり、自身の仕事に対する興味ややりがい求められることが分かります。「勤務時間」と「休日休暇日数」も満足している要因として挙げられています。

一方、フリーターでは「働き方の自由度」が3番目に多く、自身の働き方に対する柔軟性が求められていることが示唆されています。



回答者数：フリーター 495 人、正社員 477 人

仕事に満足している理由【男女別】

さらに男女別で分けてみると、1位は「人間関係の良さ」で共通しているものの、女性の方が男性よりも「人間関係の良さ」が仕事の満足度に影響することがわかりました。2位以降の項目で男女別で比較すると、男性のほうが女性よりも「仕事の面白さ」を選択している人の割合が若干高いことがわかります。男女で比較すると相対的に、男性は「何をするか」、女性は「誰とするか」が満足度に影響しやすいことが見受けられました。

仕事に満足している理由

男性フリーター

- 1位
人間関係のよさ (34.0%)
- 2位
仕事の面白さ (19.1%)
- 3位
勤務時間 (13.8%)
- 4位
働き方の自由度 (11.7%)
- 5位
休日休暇日数 (6.4%)

回答者数：94人 ※5位まで抜粋

女性フリーター

- 1位
人間関係のよさ (40.1%)
- 2位
働き方の自由度 (13.2%)
- 3位
仕事の面白さ (12.5%)
- 3位
勤務時間 (12.5%)
- 5位
休日休暇日数 (9.7%)

回答者数：401人 ※5位まで抜粋

男性正社員

- 1位
人間関係のよさ (22.2%)
- 2位
仕事の面白さ (19.8%)
- 3位
休日・休暇日数 (14.4%)
- 4位
勤務時間 (10.3%)
- 4位
給与 (10.3%)

回答者数：243人 ※5位まで抜粋

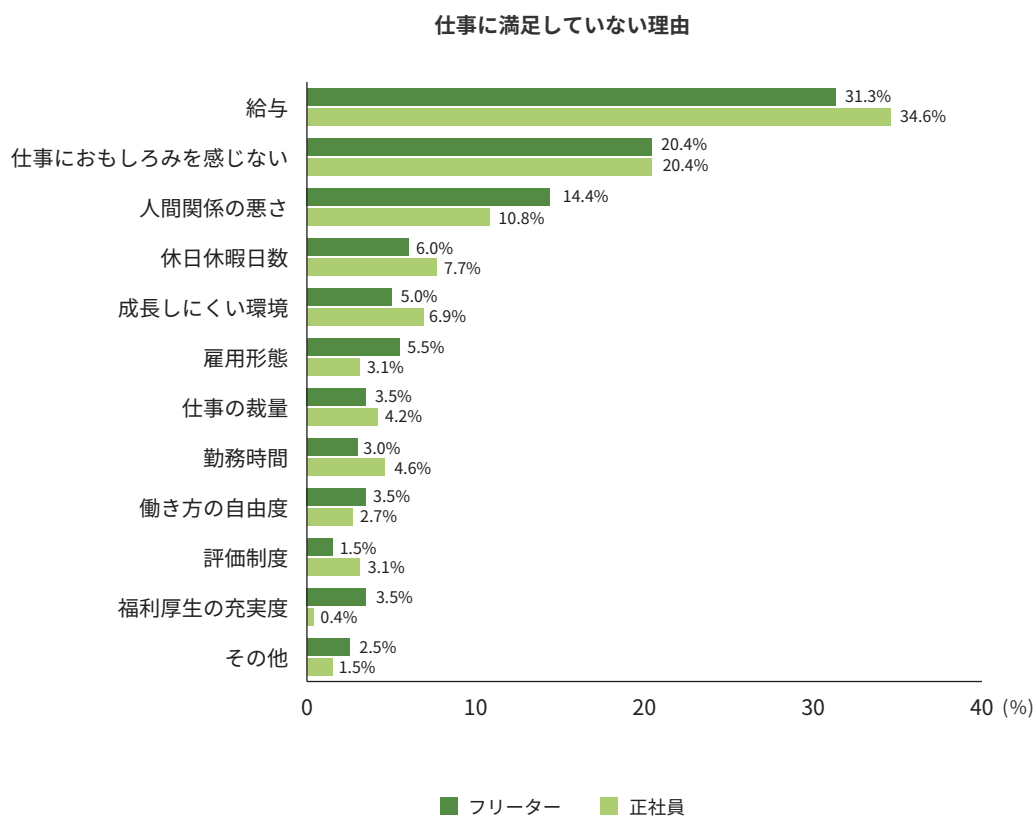
女性正社員

- 1位
人間関係のよさ (35.5%)
- 2位
仕事の面白さ (17.5%)
- 3位
休日休暇日数 (13.7%)
- 4位
勤務時間 (9.4%)
- 5位
給与 (6.8%)

回答者数：234人 ※5位まで抜粋

2-4. 仕事に満足していない理由

「2-2. 現在の仕事の満足度」で仕事に「全く満足していない」「あまり満足していない」と回答した人に対しその理由を尋ねると、フリーターも正社員も「給与」に対して不満に感じていると回答する人が最多でした。次いで、「仕事におもしろみを感じない」が続きます。仕事に対する興味ややりがいの不足が、仕事に満足していない要因となっているようです。



回答者数：フリーター 201人、正社員 260人

仕事に満足していない理由【男女別】

「2-3. 仕事に満足している理由」では男女差が見られましたが、満足していない理由では男女でほぼ変わらない結果となりました。いずれも「給与」と「仕事におもしろみを感じない」が、仕事に満足していない理由の半数近くを占めています。

仕事に満足していない理由

男性フリーター

- 1位
給与 (34.0%)
- 2位
仕事におもしろみを感じない (25.5%)
- 3位
人間関係の悪さ (12.8%)
- 4位
休日休暇日数 (8.5%)
- 5位
成長しにくい環境 (4.3%)
- 5位
仕事の裁量 (4.3%)
- 5位
働き方の自由度 (4.3%)

回答者数：47人 ※5位まで抜粋

女性フリーター

- 1位
給与 (30.5%)
- 2位
仕事におもしろみを感じない (18.8%)
- 3位
人間関係の悪さ (14.9%)
- 4位
雇用形態 (6.5%)
- 5位
成長しにくい環境 (5.2%)
- 5位
休日休暇日数 (5.2%)

回答者数：154人 ※5位まで抜粋

男性正社員

- 1位
給与 (27.3%)
- 2位
仕事に面白みを感じない (24.8%)
- 3位
人間関係の悪さ (14.9%)
- 4位
休日休暇日数 (10.7%)
- 5位
成長しにくい環境 (4.1%)
- 5位
勤務時間 (4.1%)
- 5位
働き方の自由度 (4.1%)

回答者数：121人 ※5位まで抜粋

女性正社員

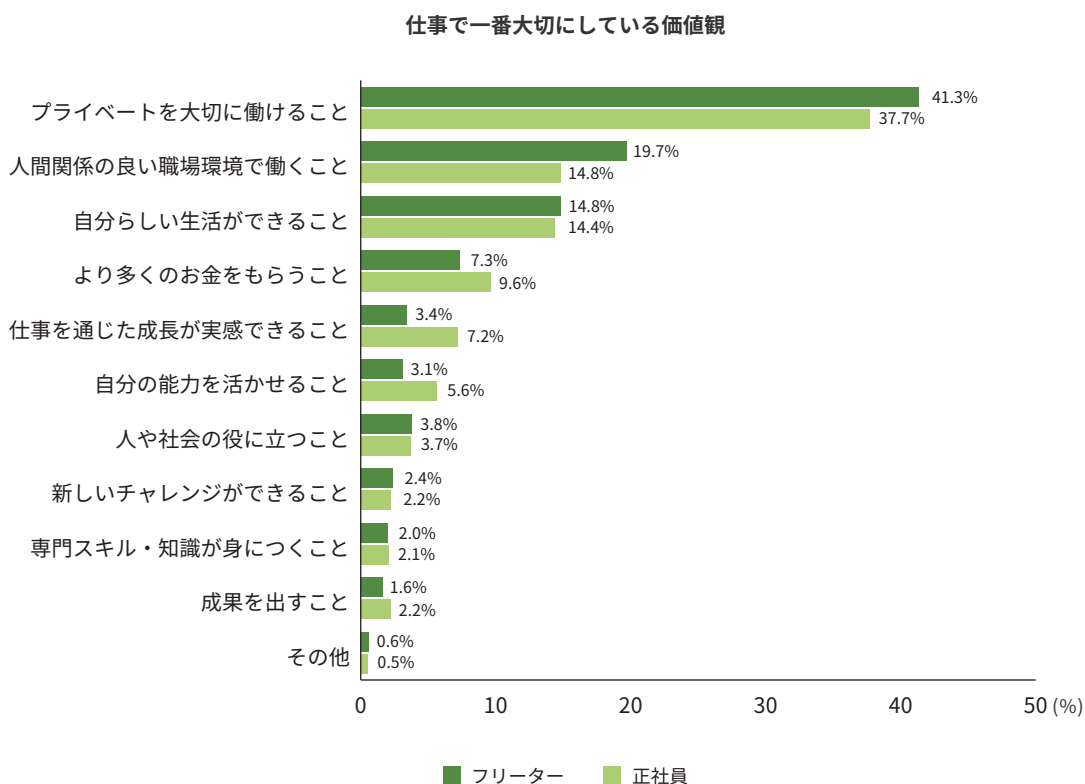
- 1位
給与 (41.0%)
- 2位
仕事に面白みを感じない (16.5%)
- 3位
成長しにくい環境 (9.4%)
- 4位
人間関係の悪さ (7.2%)
- 5位
勤務時間 (5.0%)
- 5位
休日休暇日数 (5.0%)
- 5位
仕事の裁量 (5.0%)

回答者数：139人 ※5位まで抜粋

2-5. 仕事で一番大切にしている価値観

仕事で一番大切にしている価値観については、フリーター・正社員どちらも「プライベートを大切に働けること」が約4割で最多となりました。

「人間関係の良い職場環境で働くこと」はフリーターが正社員と比べて5ptほど高いですが、「より多くのお金をもらうこと」「仕事を通じた成長が実感できること」「自分の能力を活かせること」では正社員の割合が若干高く、差が見受けられました。フリーターと比較して、正社員の方が「給与軸」や「自己成長意欲」が高いことが見受けられます。



回答者数：フリーター 1,000 人、正社員 1,000 人

仕事で一番大切にしている価値観【男女別】

「2-5. 仕事で一番大切にしている価値観」ではフリーターと正社員の間で差が見られませんでした。男女間でも大きな差は見られず、「プライベートを大切に働けること」が1位の結果に。フリーターと女性正社員の2位は「人間関係の良い職場環境で働くこと」でしたが、男性正社員の2位は「自分らしい生活ができること」で、差異が見られました。

仕事で一番大切にしている価値観

男性フリーター

- 1位
プライベートを大切に働けること (32.4%)
- 2位
人間関係の良い職場環境で働くこと (16.7%)
- 3位
自分らしい生活ができること (14.8%)
- 4位
より多くのお金をもらうこと (11.4%)
- 5位
人や社会の役に立つこと (6.2%)

回答者数：210人 ※5位まで抜粋

女性フリーター

- 1位
プライベートを大切に働けること (43.7%)
- 2位
人間関係の良い職場環境で働くこと (20.5%)
- 3位
自分らしい生活ができること (14.8%)
- 4位
より多くのお金をもらうこと (6.2%)
- 5位
仕事を通じた成長が実感できること (3.3%)

回答者数：790人 ※5位まで抜粋

男性正社員

- 1位
プライベートを大切に働けること (36.2%)
- 2位
自分らしい生活ができること (15.6%)
- 3位
より多くのお金をもらうこと (11.0%)
- 4位
人間関係の良い職場環境で働くこと (10.0%)
- 5位
仕事を通じた成長が実感できること (8.4%)

回答者数：500人 ※5位まで抜粋

女性正社員

- 1位
プライベートを大切に働けること (39.2%)
- 2位
人間関係の良い職場環境で働くこと (19.6%)
- 3位
自分らしい生活ができること (13.2%)
- 4位
より多くのお金をもらうこと (8.2%)
- 5位
仕事を通じた成長が実感できること (6.0%)

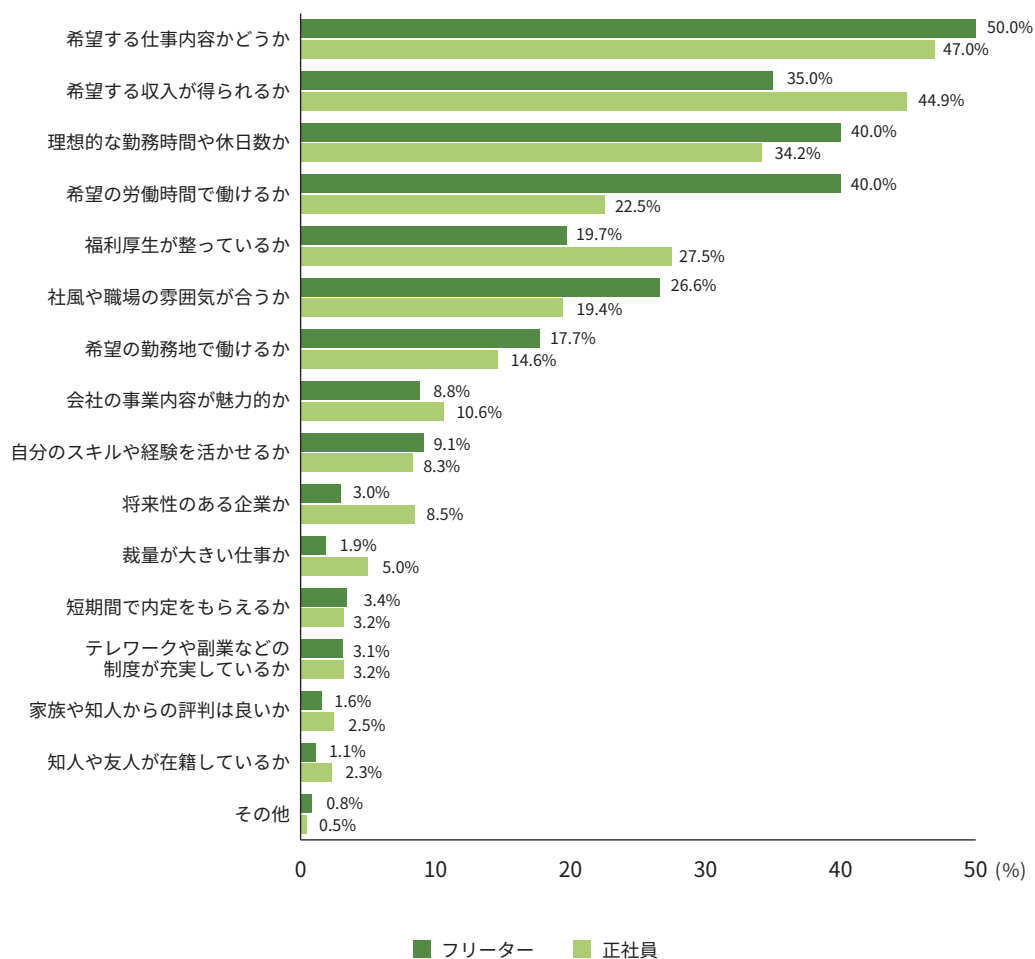
回答者数：500人 ※5位まで抜粋

2-6. 仕事選びで重視していること

仕事選びで重視していることは、「1-7. 現在の仕事に就いた理由」とほぼ変わらない結果で「希望する仕事内容かどうか」が1位となりました。

フリーターと正社員で比較すると、フリーターは労働時間を自由に選択できるため、「希望の労働時間で働けるか」「理想的な勤務時間や休日数か」が上位に入っています。正社員は「希望する収入が得られるか」「福利厚生が整っているか」が上位に挙がり、「1-8・1-9 手取り月収の分布」でフリーターよりも正社員の方が給与水準が高いことからわかるように、正社員ならではの回答が目立ちました。

仕事選びで重視していること



回答者数：フリーター 1,000 人、正社員 1,000 人（3 つまで回答）

仕事選びで重視していること【男女別】

さらに男女別で分けてみると、1位は「希望する仕事内容かどうか」で共通しています。男性フリーター・男性正社員・女性正社員は、2位に「希望する収入が得られるか」がランクインしました。一方で、女性フリーターは4位にランクインしており、他のグループよりも収入に関する優先度はやや低い傾向が見られます。女性フリーターの2位には「希望の労働時間で働けるか」が挙げられており、収入より労働時間を重視している人の割合が高いことが見受けられました。

仕事選びで重視していること

男性フリーター

- 1位
希望する仕事内容かどうか (46.2%)
- 2位
希望する収入が得られるか (34.3%)
- 3位
理想的な勤務時間や休日数か (32.4%)
- 4位
希望の労働時間で働けるか (29.5%)
- 5位
社風や職場の雰囲気合うか (25.2%)

回答者数：210人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

女性フリーター

- 1位
希望する仕事内容かどうか (51.0%)
- 2位
希望の労働時間で働けるか (42.8%)
- 3位
理想的な勤務時間や休日数か (42.0%)
- 4位
希望する収入が得られるか (35.2%)
- 5位
社風や職場の雰囲気合うか (27.0%)

回答者数：790人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

男性正社員

- 1位
希望する仕事内容かどうか (45.2%)
- 2位
希望する収入が得られるか (43.4%)
- 3位
理想的な勤務時間や休日数か (32.4%)
- 4位
福利厚生が整っているか (26.2%)
- 5位
希望の労働時間で働けるか (19.8%)

回答者数：500人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

女性正社員

- 1位
希望する仕事内容かどうか (48.8%)
- 2位
希望する収入が得られるか (46.4%)
- 3位
理想的な勤務時間や休日数か (36.0%)
- 4位
福利厚生が整っているか (28.8%)
- 5位
希望の労働時間で働けるか (25.2%)

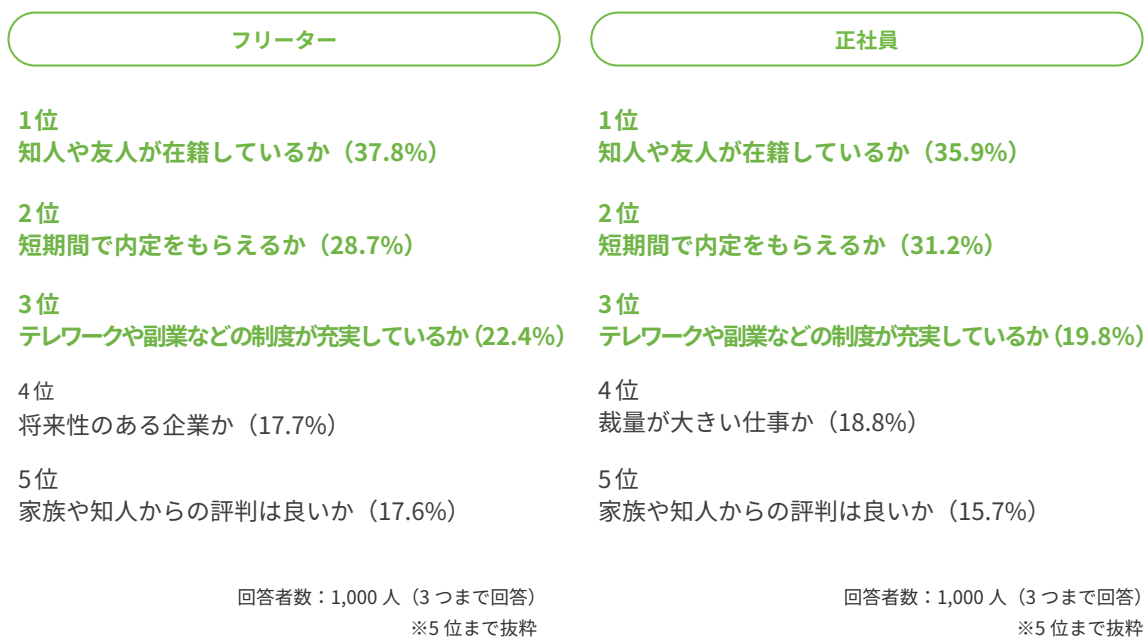
回答者数：500人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

2-7. 仕事選びで妥協できること

仕事選びで妥協できることは、「知人や友人が在籍しているか」がフリーター正社員ともに1位にランクイン。2位、3位もフリーターと正社員の間で差がない結果になりました。

近年、働き方改革の推進などにより多様な働き方を導入している企業は増加傾向です。一方で、約5人に1人の若者は「テレワークや副業などの制度の充実」を妥協しても良い点として挙げています。若者の仕事探しでは、必ずしもその点が重視されているわけではないことが分かりました。

仕事選びで妥協できること



03 就職活動・転職活動について

3-1. 現在、就職活動をしているか（フリーター）

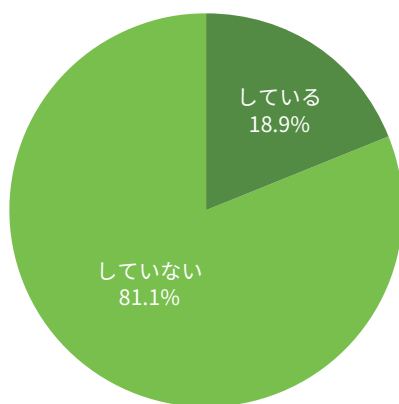
フリーターに対し、現在就職活動をしているか尋ねると、8割以上が「していない」と回答しています。男女別で見ると、女性フリーターのほうが男性フリーターよりも就活中の割合が低いです。

男女別に昨年度の調査※と比較すると、就活中の割合は男女どちらも1pt以上増加しています。いずれの年度も男性の方が女性より就職活動中の割合が高く、男性の方が正社員への就業意欲が高いことが見受けられました。

※2023年3月発表「若者しごと白書2023」(<https://hataractive.jp/partner/whitepaper/youthwork2023/>)

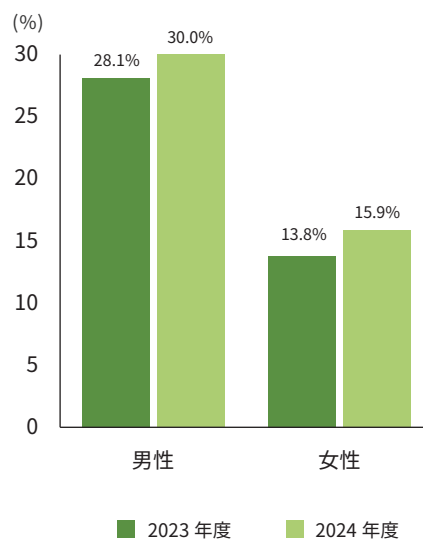
就職活動している割合

現在、就職活動をしているか【フリーター】



回答者数：1,000人

就職活動をしている割合【フリーター】



回答者数：2023年度 男性 270人、女性 730人
2024年度 男性 210人、女性 790人

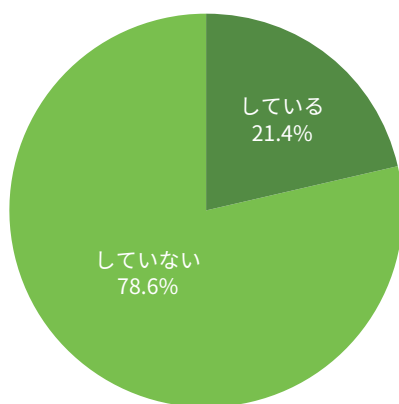
3-2. 現在、転職活動をしているか（正社員）

正社員に対し、現在転職活動をしているかを尋ねると、「している」の回答が2割を超えました。フリーターが就職活動している割合よりも、正社員が転職活動している割合が多くなりました。

男女別に昨年度の調査※と比較すると、男性の転職活動中の割合はわずかに減少しているものの、女性は6pt以上増加しています。昨年度は就職活動している割合が女性より男性の方が高かったですが、今年度の調査では男性と女性の転職割合は同じ結果となりました。

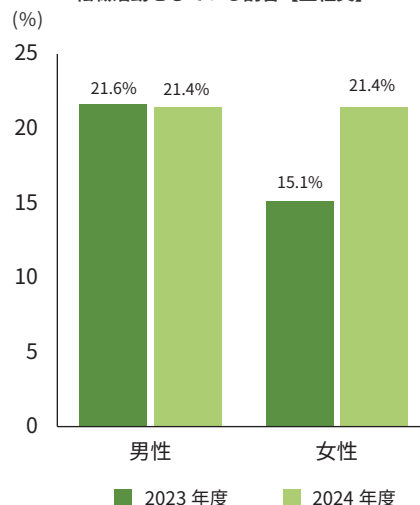
※2023年3月発表「若者しごと白書2023」(https://hataractive.jp/partner/whitepaper/youthwork2023/)

現在転職活動をしているか【正社員】



回答者数：1,000人

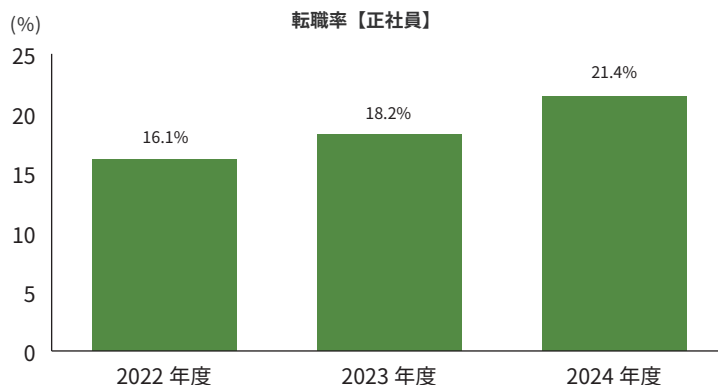
転職活動をしている割合【正社員】



回答者数：2023年度 男性 482人、女性 518人
2024年度 男性 500人、女性 500人

過去3年間の転職率【正社員】

過去3年間の転職率を比較すると、前回の調査（18.2%）から上昇し、過去3年で最も高い水準となっています。年々転職する正社員は増加しています。

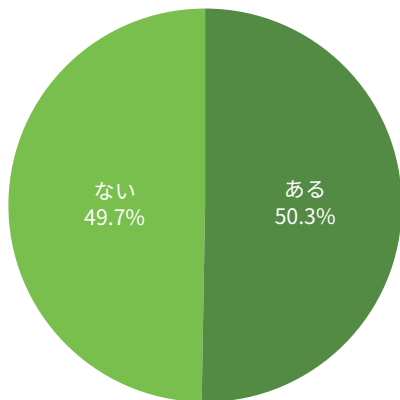


回答者数：2022年度 1,096人、2023年度・2024年度 各 1,000人

3-3. 過去に就職活動・転職活動をしたことがあるか

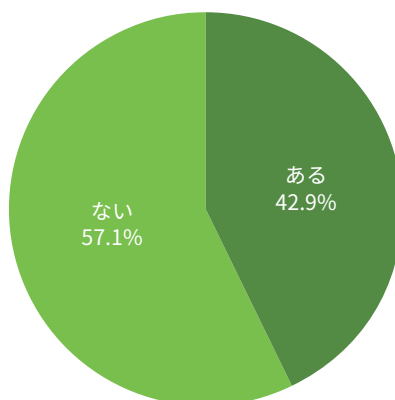
現在就職・転職活動をしていない人に対し、過去に活動経験があるか尋ねると、フリーターは「ある」が半数以上、正社員は「ある」が4割以上となっています。

過去に就職活動をしたことがあるか【フリーター】



回答者数：811人

過去に転職活動をしたことがあるか【正社員】

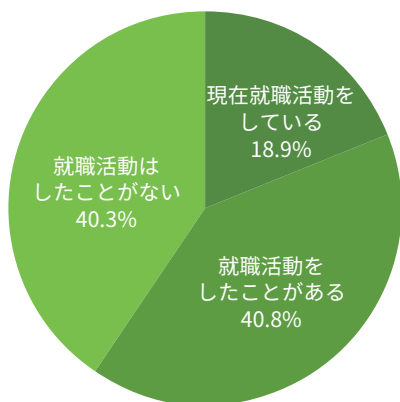


回答者数：786人

就職活動・転職活動の経験がある割合

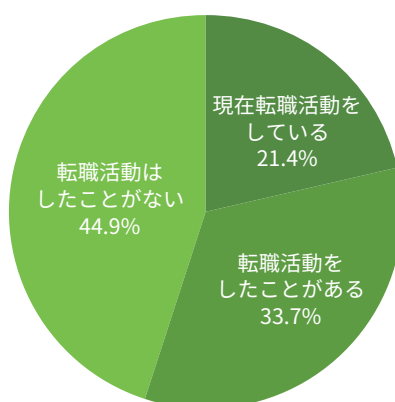
「3-1. 現在、就職活動をしているか（フリーター）」「3-2. 現在、転職活動をしているか（正社員）」の結果と合わせると、フリーターのおよそ6割（59.7%）が就職活動の経験があり、正社員の約半数（55.1%）が転職活動をしたことがあるということがわかりました。

就職活動経験はあるか【フリーター】



回答者数：1,000人

転職活動経験はあるか【正社員】

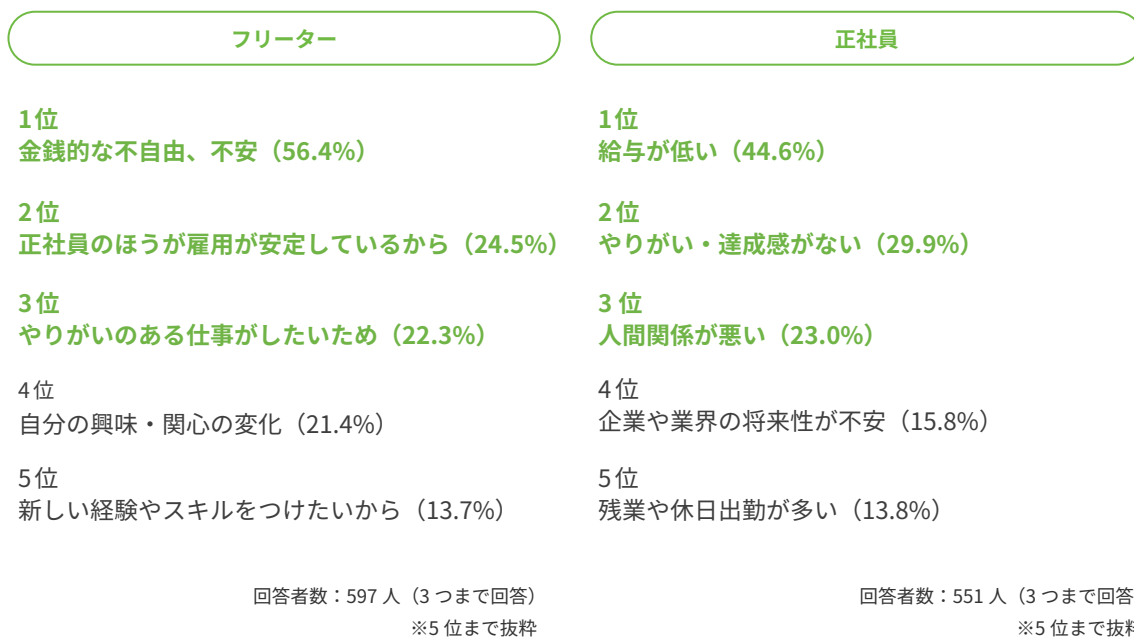


回答者数：1,000人

3-4. 就職活動・転職活動を始めたきっかけ

就・転職活動を始めたきっかけは、フリーターは「金銭的な不自由、不安」の回答がもっとも多く、正社員は「給与が低い」が1位でした。どちらも、金銭面での不満や不安が1位を占めていました。2位は違いがあり、フリーターは「雇用の安定」を、正社員は「やりがい」を求めてそれぞれ就職活動・転職活動を始めています。

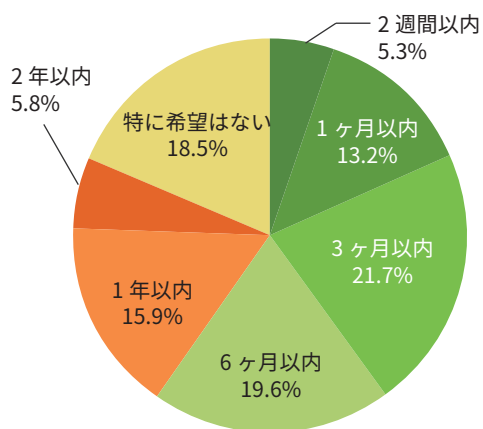
就職活動・転職活動を始めたきっかけ



3-5. 就職・転職を希望するタイミング

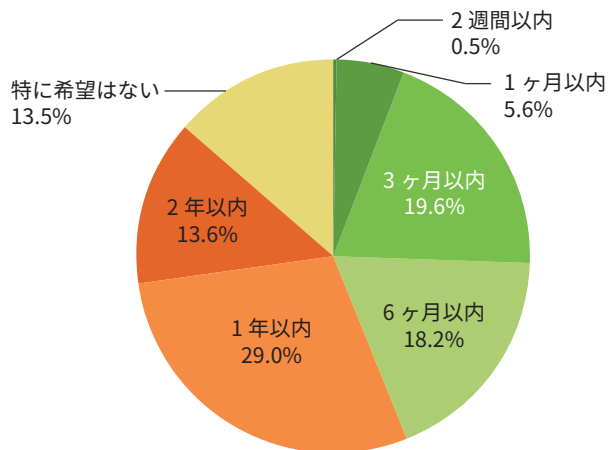
現在、就職活動や転職活動をしている人の就職・転職を希望するタイミングは、フリーターと正社員で違いが見られました。フリーターの場合、3ヶ月以内に就職を希望する割合が1番多く、半数以上のフリーターが半年以内の就職を望んでいます。一方正社員の場合、1年以内に転職を望んでいる人が約3割を占め最多に。就職・転職を希望するタイミングには違いがあることがわかります。

就職を希望する時期【フリーター】



回答者数：189人

転職を希望する時期【正社員】



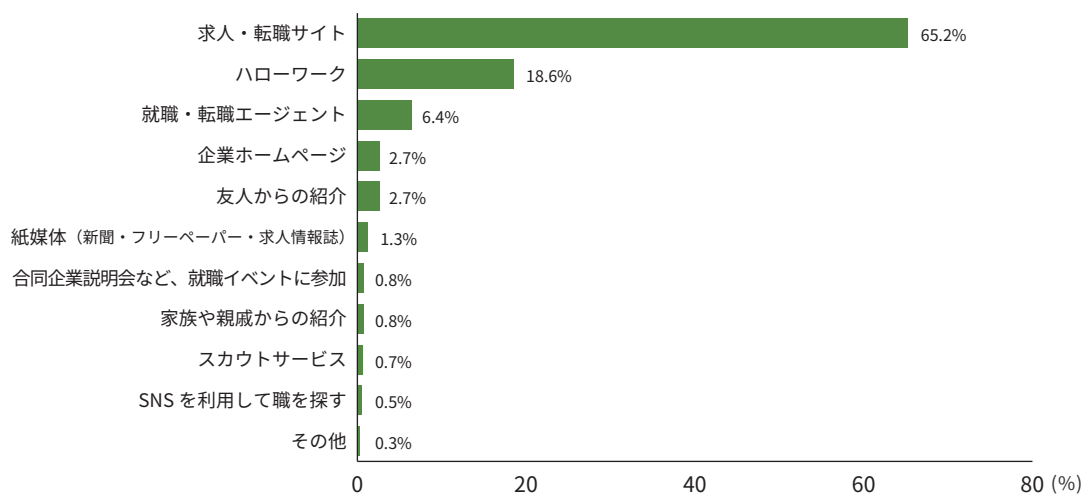
回答者数：214人

3-6. 企業探し的手段・利用サービス

就職活動・転職活動における企業探し的手段・利用サービスについては、フリーターも正社員も「求人・転職サイト」が最多です。正社員は2位に「就職・転職エージェント」が挙げられていますが、フリーターは2位に「ハローワーク」がランクインしており、「就職・転職エージェント」は6.4%と1割未満でした。

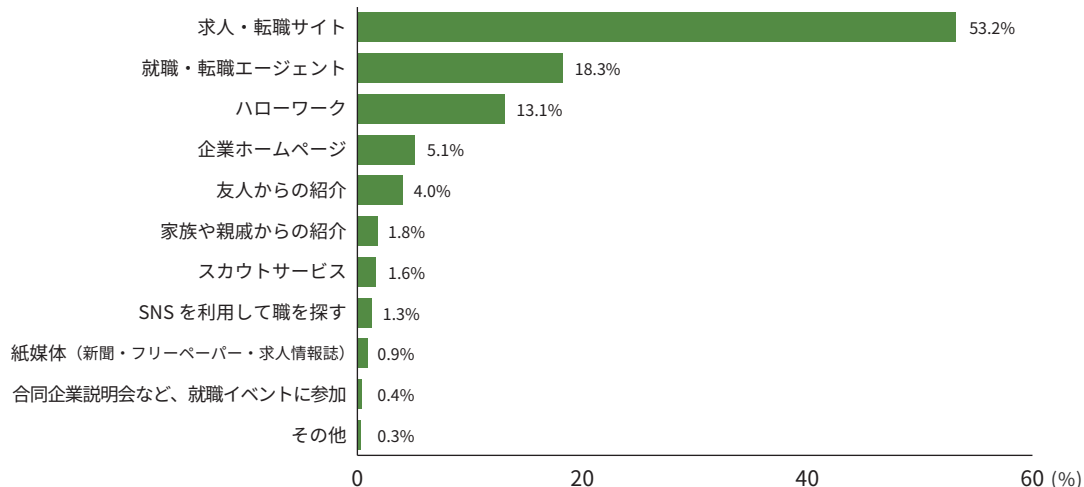
これは、正社員向けの転職エージェントに比べると、20代フリーターを対象とする就職エージェントは少なく、就職時に手段として想起されにくいことが理由と考えられます。

企業探し的手段・利用サービス【フリーター】



回答者数：597人

企業探し的手段・利用サービス【正社員】



回答者数：551人

企業探し的手段・利用サービス【学歴別】

さらに学歴別で見ると、利用しているサービスはいずれも「求人・転職サイト」が最多に。2位以下は、高卒はハローワーク、大卒は就職・転職エージェントの利用度が高いことがわかりました。大卒正社員の4人に1人は「転職エージェント」を利用しており、高卒正社員よりも15pt程度高い数値が出ています。雇用形態に関わらず、高卒よりも大卒の人の方がエージェントの利用率が高いことがわかります。

企業探し的手段・利用サービス

高卒フリーター

- 1位
求人・転職サイト (63.1%)
- 2位
ハローワーク (22.9%)
- 3位
紙媒体 (新聞・フリーペーパー・求人情報誌) (3.0%)
- 4位
就職・転職エージェント (2.6%)
- 4位
友人からの紹介 (2.6%)

回答者数：271人 ※5位まで抜粋

大卒フリーター

- 1位
求人・転職サイト (66.9%)
- 2位
ハローワーク (15.0%)
- 3位
就職・転職エージェント (9.5%)
- 4位
企業ホームページ (3.1%)
- 5位
友人からの紹介 (2.8%)

回答者数：326人 ※5位まで抜粋

高卒正社員

- 1位
求人・転職サイト (56.7%)
- 2位
ハローワーク (18.6%)
- 3位
就職・転職エージェント (10.6%)
- 4位
企業ホームページ (4.2%)
- 4位
友人からの紹介 (4.2%)

回答者数：263人 ※5位まで抜粋

大卒正社員

- 1位
求人・転職サイト (50.0%)
- 2位
就職・転職エージェント (25.3%)
- 3位
ハローワーク (8.0%)
- 4位
企業ホームページ (5.9%)
- 5位
友人からの紹介 (3.8%)

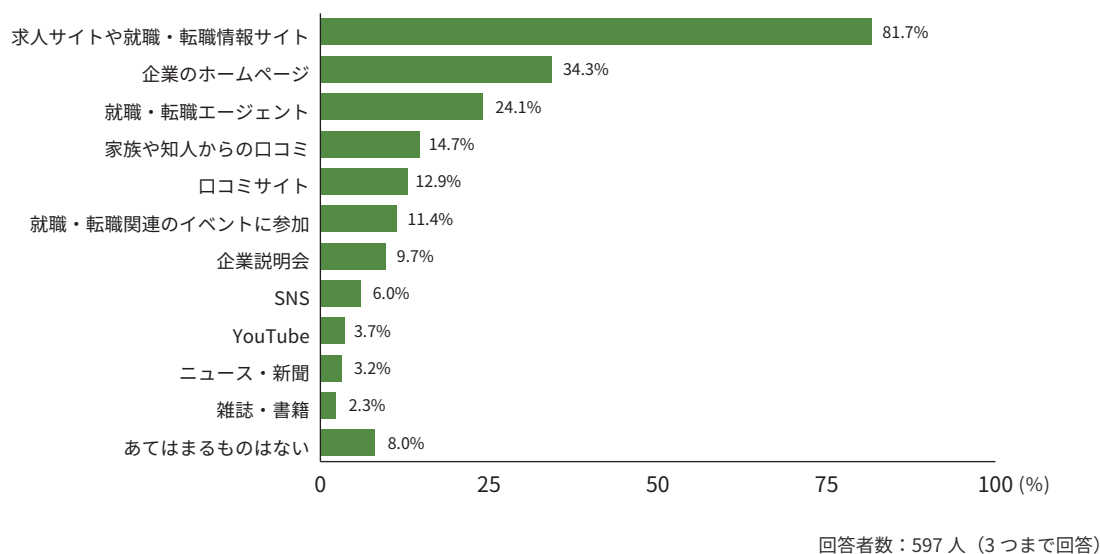
回答者数：288人 ※5位まで抜粋

3-7. 就職活動・転職活動の情報収集の方法

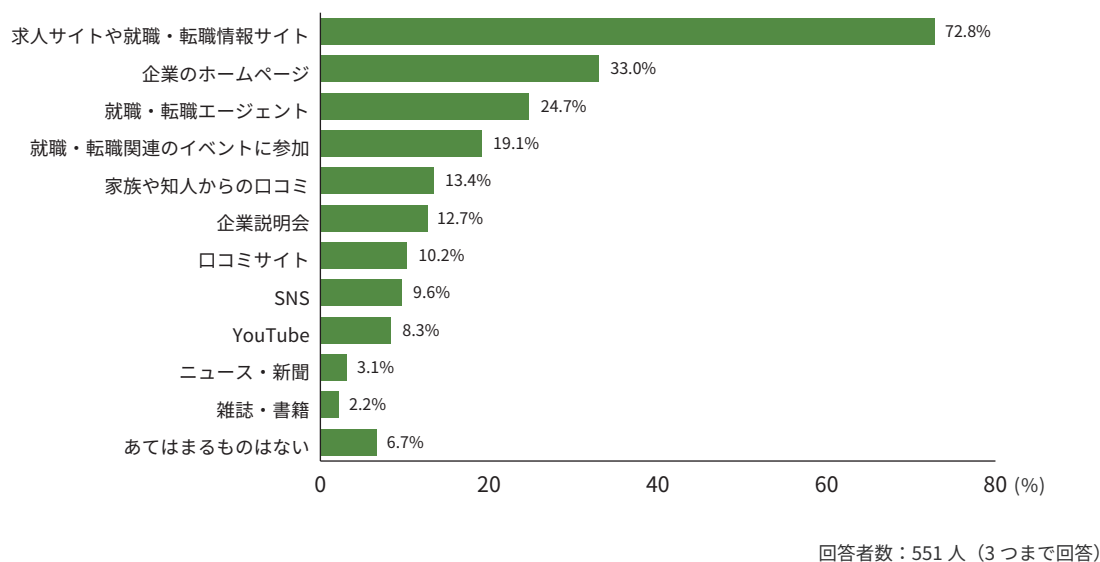
就職活動・転職活動の情報収集の方法に関しては、フリーターも正社員も「求人サイトや就職・転職情報サイト」をメインで活用しており、その他の情報収集方法に大きな差は見られません。

「就職・転職関連のイベントに参加」と回答した割合は、フリーターでは 11.4%、正社員では 19.1% と 7 ポイント以上正社員の方が多く結果になりました。正社員は、SNS や YouTube で情報収集している割合もフリーターより高く、幅広い媒体から企業や業界の情報を得ていることがわかります。

就職活動・転職活動の情報収集の方法【フリーター】



就職活動・転職活動の情報収集の方法【正社員】



就職活動・転職活動の情報収集の方法【学歴別】

学歴別にすると、1位「求人サイトや就職・転職情報サイト」、2位「企業のホームページ」3位「就職・転職エージェント」で上位には、違いが見られません。ただ、フリーター・正社員ともに高卒の場合は「家族や知人からの口コミ」がランクインしました。

一方で大卒の場合は、フリーター・正社員ともに「就職・転職関連のイベントに参加」「企業説明会」が入っています。大卒の新卒採用では、多くの大規模な就活イベントが開催されます。大卒で就活経験がある人は、その後の転職活動でも「イベントや説明会の参加」が情報収集の候補に挙がりやすいことが予想されます。

就職活動・転職活動の情報収集の方法

高卒フリーター

- 1位
求人サイトや就職・転職情報サイト (79.0%)
- 2位
企業のホームページ (25.8%)
- 3位
就職・転職エージェント (22.9%)
- 4位
家族や知人からの口コミ (17.7%)
- 5位
口コミサイト (12.5%)

回答者数：271人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

大卒フリーター

- 1位
求人サイトや就職・転職情報サイト (84.0%)
- 2位
企業のホームページ (41.4%)
- 3位
就職・転職エージェント (25.2%)
- 4位
就職・転職関連のイベントに参加 (14.4%)
- 5位
企業説明会 (13.2%)
- 5位
口コミサイト (13.2%)

回答者数：326人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

高卒正社員

- 1位
求人サイトや就職・転職情報サイト (76.4%)
- 2位
企業のホームページ (31.2%)
- 3位
就職・転職エージェント (24.7%)
- 4位
家族や知人からの口コミ (15.2%)
- 5位
就職・転職関連のイベントに参加 (14.1%)

回答者数：263人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

大卒正社員

- 1位
求人サイトや就職・転職情報サイト (69.4%)
- 2位
企業のホームページ (34.7%)
- 3位
就職・転職エージェント (24.7%)
- 4位
就職・転職関連のイベントに参加 (23.6%)
- 5位
企業説明会 (17.0%)

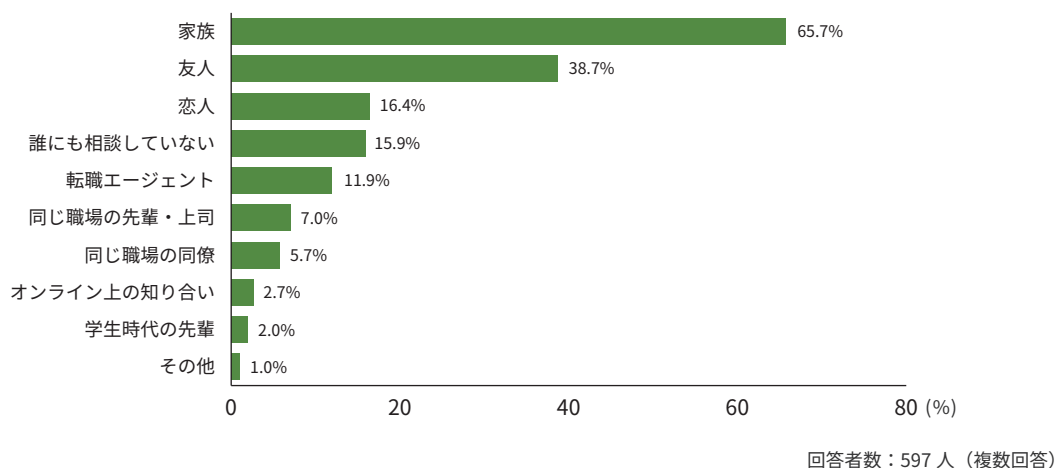
回答者数：288人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

3-8. 就職活動・転職活動を始める際の相談相手

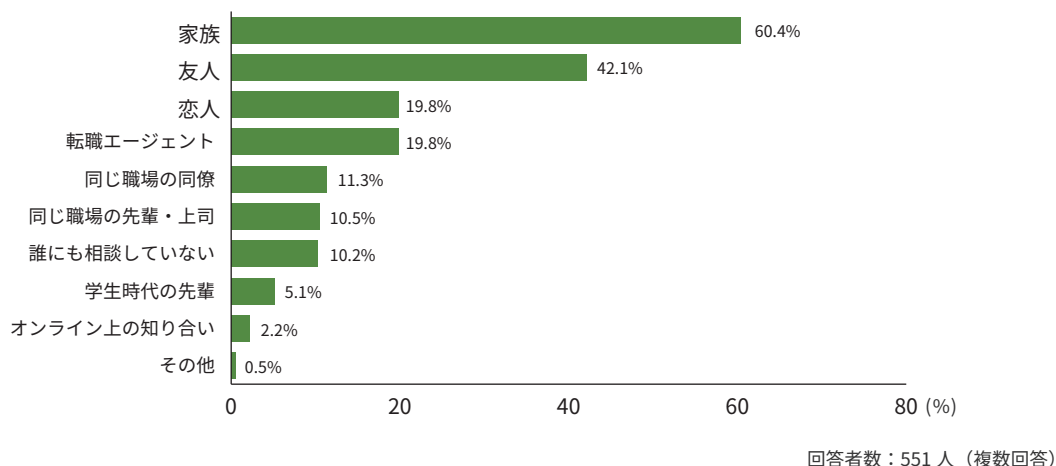
就職活動・転職活動を始める際の相談相手は、フリーター・正社員いずれも6割以上が「家族」と回答。次いで、「友人」や「恋人」が相談相手として挙げられます。

「誰にも相談していない」と回答した割合は、フリーターのほうが正社員よりも6pt程度高く、フリーターの4位にランクインしました。正社員の3位には「恋人（19.8%）」と「転職エージェント（19.8%）」が同率でランクインし、正社員の方が第3者の意見や知識を求める傾向にあることが見受けられました。

就職活動・転職活動を始める際の相談相手【フリーター】



就職活動・転職活動を始める際の相談相手【正社員】

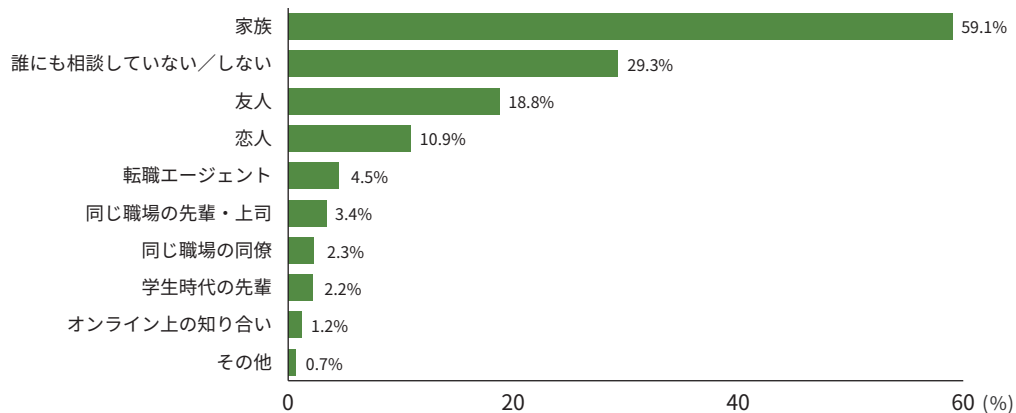


3-9. 内定後の相談相手

内定後の相談相手は、フリーターの場合「3-8. 就職活動・転職活動を始める際の相談相手」と同様に、「家族」が最多でした。就職活動を始める際、フリーターが「友人」や「恋人」に相談している割合は「誰にも相談していない」割合よりも高かったですが、内定後では「誰にも相談していない」が2位にランクインしています。

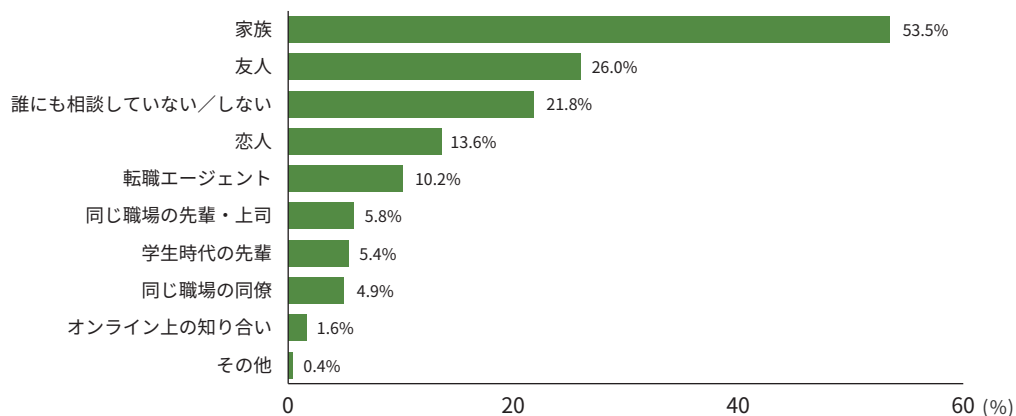
正社員では、「恋人」を抜いて「誰にも相談していない」が上位に上がっており、フリーターも正社員も内定後は相談しない人の割合が増えています。

内定後の相談相手【フリーター】



回答者数：597人（複数回答）

内定後の相談相手【正社員】

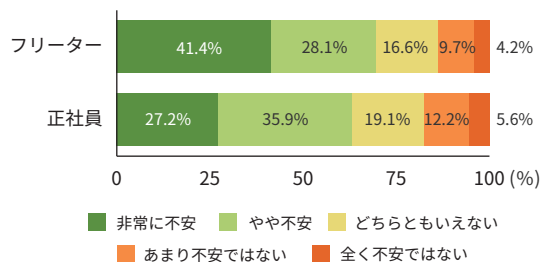


回答者数：551人（複数回答）

3-10. 就職活動・転職活動を始めるときの不安度

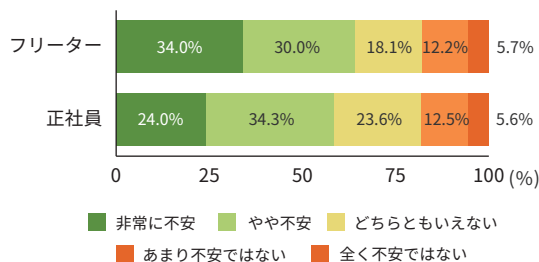
フリーターと正社員に、就職活動や転職活動を始めるときの不安の度合いを尋ねると、下記の(1)～(8)の結果になりました。すべての質問において「不安がある」と回答が過半数を超えており、就職活動・転職活動を始めるときの不安を抱えている人が多いことがわかります。全体的に正社員よりもフリーターのほうが就職活動に対して不安を感じやすいようです。

(1) 自分の経歴で就職／転職できる仕事があるかが不安



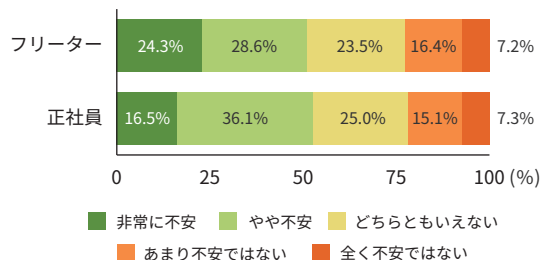
回答者数：フリーター：597人 正社員：551人

(2) 自分に向いている仕事（適職）がわからず不安



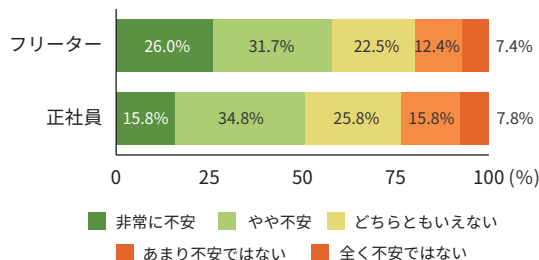
回答者数：フリーター：597人 正社員：551人

(3) 就職／転職の相談、サポートしてくれる人がおらず不安



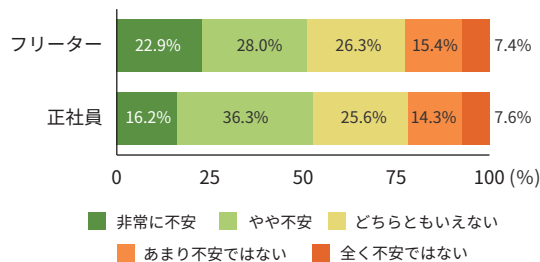
回答者数：フリーター：597人 正社員：551人

(4) 就職活動の進め方がわからず不安



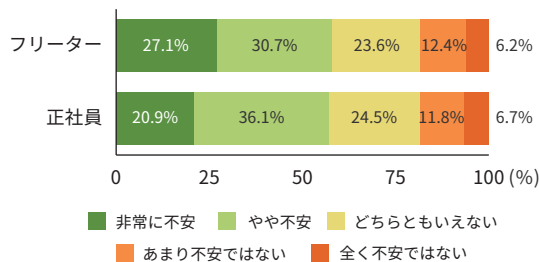
回答者数：フリーター：597人 正社員：551人

(5) たくさん求人があるって、どれを選ばいいかわからず不安



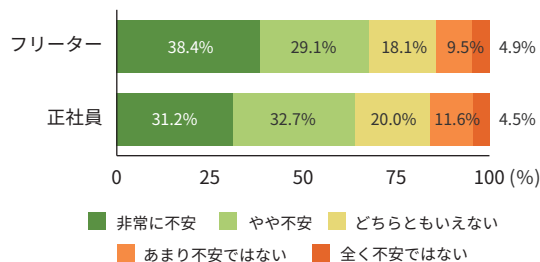
回答者数：フリーター：597人 正社員：551人

(6) 事前準備をたくさんする必要があり不安



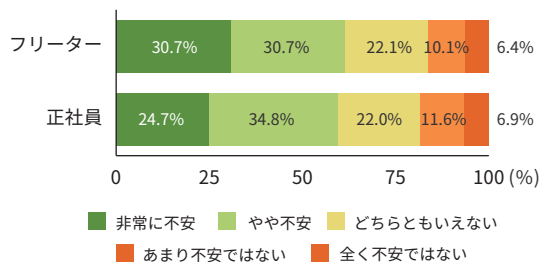
回答者数：フリーター：597人 正社員：551人

(7) 選考時に上手く自分を伝えられるか不安



回答者数：フリーター：597人 正社員：551人

(8) 内定が出るまで就職活動を続けられるか不安



回答者数：フリーター：597人 正社員：551人

就職活動・転職活動の不安度を高い順に並び替えると次の通りです。フリーター・正社員ともに経歴や自己アピールに対する不安が共通している一方で、一部不安を感じる点が異なります。フリーターは経歴と適職に不安を感じ、正社員はアピール力や選考プロセスに不安を感じています。

就職活動・転職活動を始めるときの不安度【フリーター】

- 1位 自分の経歴で就職／転職できる仕事があるかが不安だ (69.5%)
- 2位 選考時に上手く自分を伝えられるか不安だ (67.5%)
- 3位 自分に向いている仕事(適職)がわからず不安だ (64.0%)

回答者数：597人 ※3位まで抜粋

※「非常に不安だ」「やや不安だ」を合算した数値を表記

就職活動・転職活動を始めるときの不安度【正社員】

- 1位 選考時に上手く自分を伝えられるか不安だ (63.9%)
- 2位 自分の経歴で就職／転職できる仕事があるかが不安だ (63.2%)
- 3位 内定が出るまで就職活動を続けられるか不安だ (59.5%)

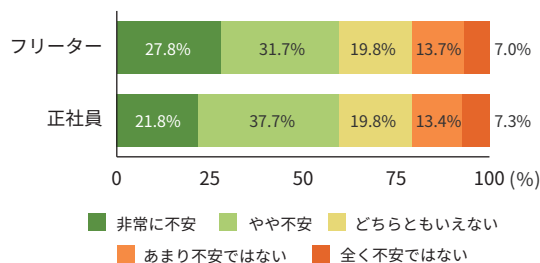
回答者数：551人 ※3位まで抜粋

※「非常に不安だ」「やや不安だ」を合算した数値を表記

3-11. 就職活動・転職活動における選考中の不安度

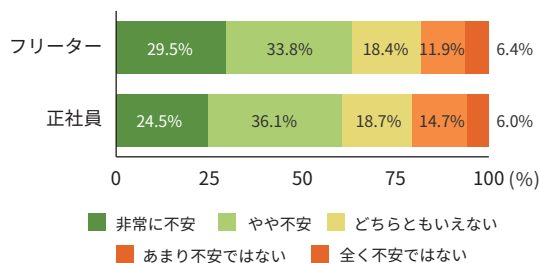
就職活動・転職活動における選考中の不安度は次の通りです。こちらも全体的にフリーターのほうが不安度は高い結果になっています。「事前の面接対策」や「面接でのアピール方法」など面接に対して不安を感じる割合が高く、日程管理に不安を感じる割合は低いです。

(1) 履歴書や職務経歴書の準備



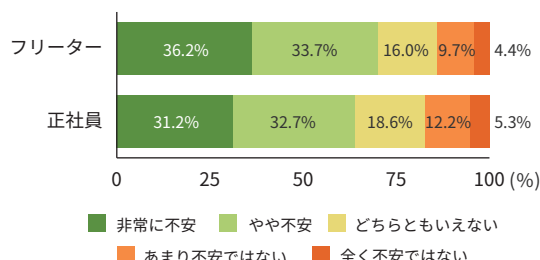
回答者数：フリーター：597人 正社員：551人

(2) 履歴書の書き方や面接時のマナー



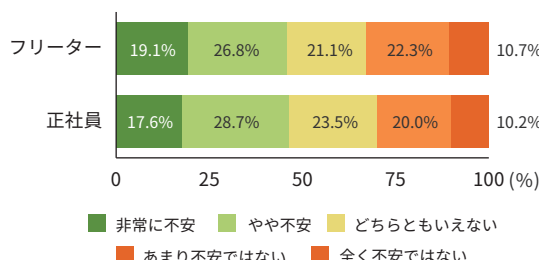
回答者数：フリーター：597人 正社員：551人

(3) 事前の面接対策



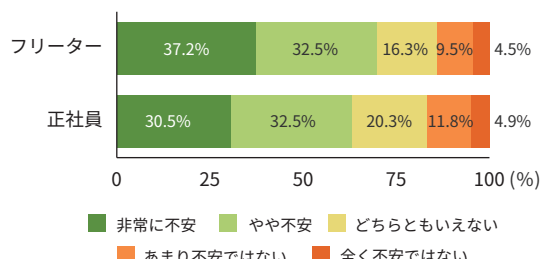
回答者数：フリーター：597人 正社員：551人

(4) 面接のスケジュール調整／管理



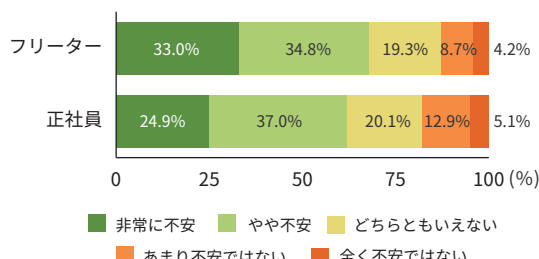
回答者数：フリーター：597人 正社員：551人

(5) 面接でのアピール方法



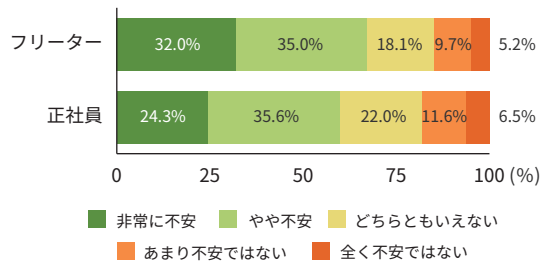
回答者数：フリーター：597人 正社員：551人

(6) 実際の業務内容や社風の把握



回答者数：フリーター：597人 正社員：551人

(7) 就職活動のモチベーション維持



回答者数：フリーター：597人 正社員：551人

不安を感じる度合いが高いものを抜粋すると次の通りです。フリーター・正社員ともに、1位から3位で同じ結果となりました。いずれも面接に関して不安を抱いていることがわかります。

就職活動・転職活動における選考中の不安度【フリーター】

- 1位 事前の面接対策 (69.8%)
- 2位 面接でのアピール方法 (69.7%)
- 3位 実際の業務内容や社風の把握 (67.8%)

回答者数：597人 ※3位まで抜粋
 ※「非常に不安だ」「やや不安だ」を合算した数値を表記

就職活動・転職活動における選考中の不安度【正社員】

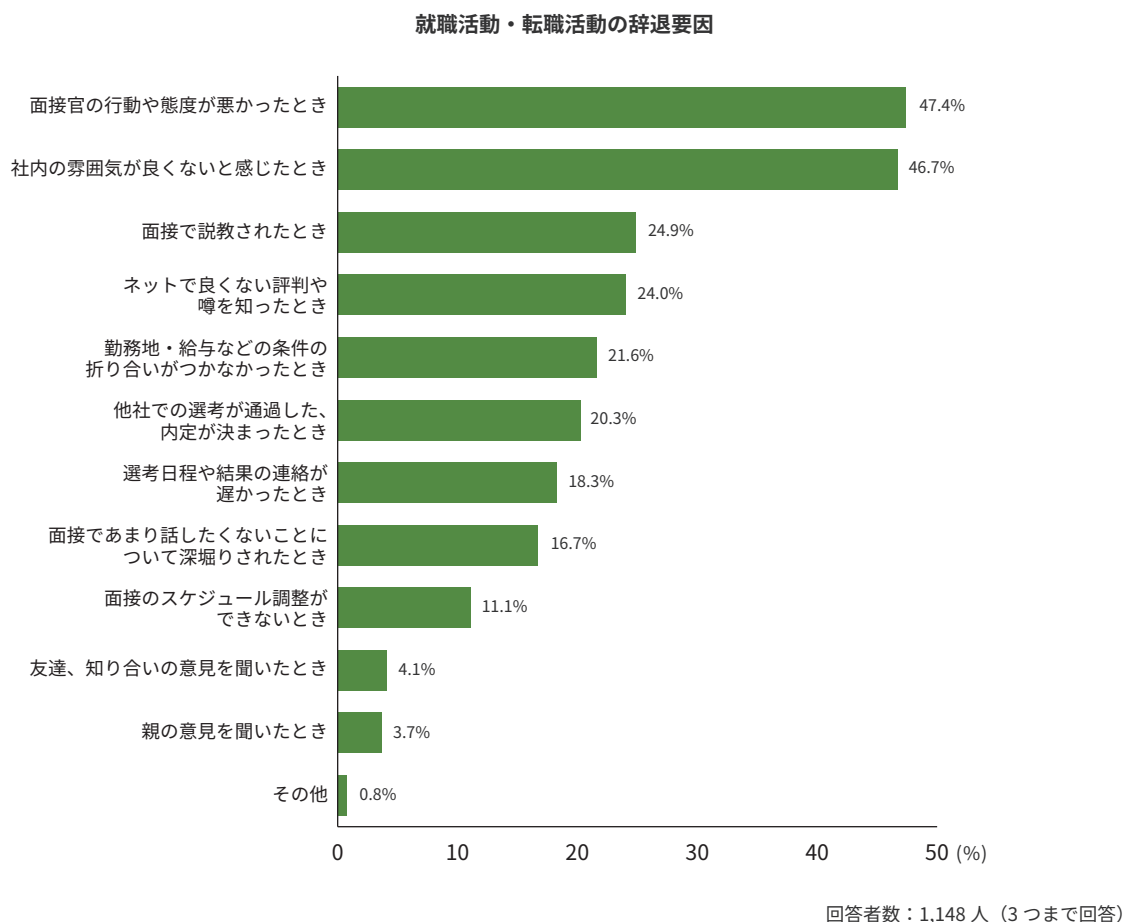
- 1位 事前の面接対策 (63.9%)
- 2位 面接でのアピール方法 (63.0%)
- 3位 実際の業務内容や社風の把握 (61.9%)

回答者数：551人 ※3位まで抜粋
 ※「非常に不安だ」「やや不安だ」を合算した数値を表記

3-12. 就職活動・転職活動で辞退する要因となるもの

就・転職活動の経験があるフリーター・正社員に対し、選考や内定を辞退する要因となるものを尋ねると、「社内の雰囲気」や「面接官の行動や態度」の割合が高くなっています。

「2-5. 仕事で一番大切にしている価値観」でも、「人間関係の良い職場環境で働くこと」が上位に挙げられているので、職場にどのような人がいるのかを気にする人は多いことが伺えます。

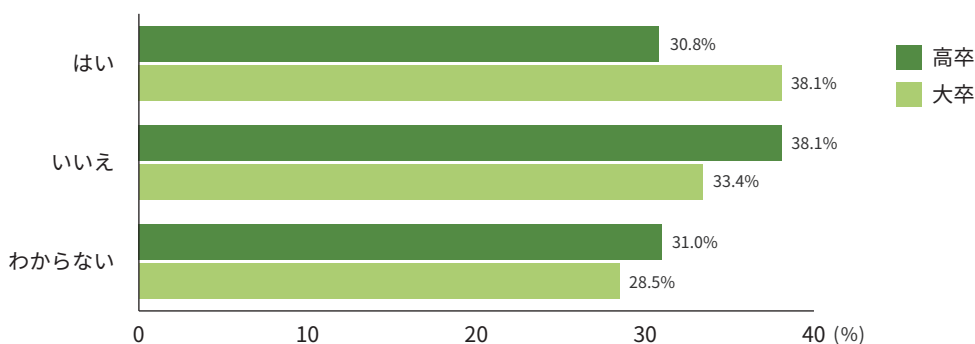


04. 今後のキャリアについて

4-1. 将来的に正社員を希望するか

将来的に正社員を希望するかという質問に対し、高卒フリーターの30.8%と、大卒フリーターの38.1%が「はい」と回答しました。高卒フリーターは、正社員を希望しない人の割合のほうが高くなっています。

将来的に正社員を希望するか【フリーター】

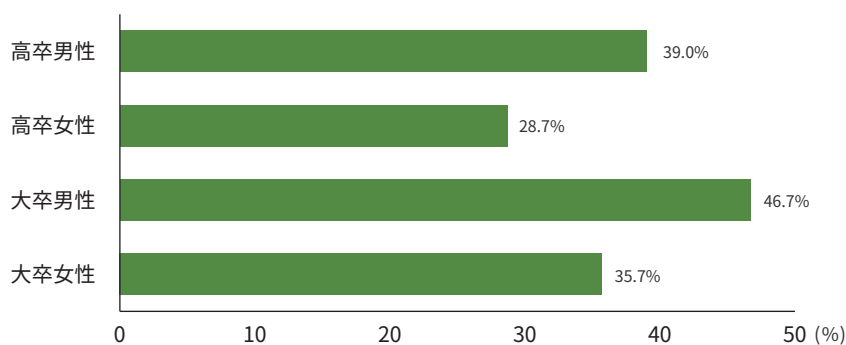


回答者数：高卒 506 人、大卒 494 人

将来正社員を目指すフリーターの割合【男女・学歴別】

性別、学歴別に見ると、高卒者より大卒者、女性より男性の方が正社員を希望する傾向があります。フリーターの中でも、学歴や性別によって、正社員を目指す割合が異なることがわかりました。

将来正社員を目指す割合【学歴性別】



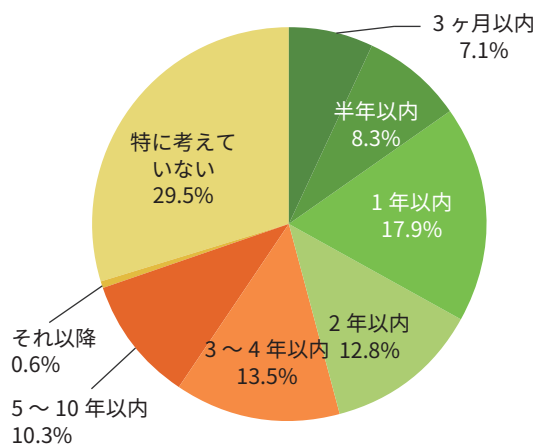
回答者数：男性高卒 105 人、女性高卒 401 人、男性大卒 105 人、女性大卒 389 人

4-2. いつ頃までに正社員になりたいか

将来的に正社員になりたいと回答したフリーターに対し、いつ頃までにしたいか尋ねると下記のような回答に。高卒フリーターの場合、「特に考えていない」が29.5%と圧倒的ですが、大卒フリーターの場合、「半年以内」が19.7%となっています。

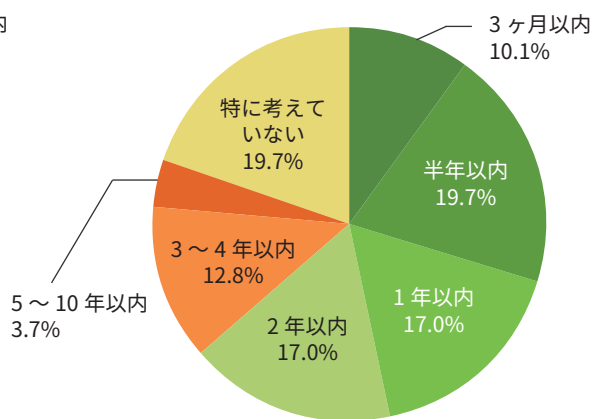
高卒フリーターの場合、短期的な期間（3ヶ月以内、半年以内）よりも中長期的な期間（1年以内、2年以内、3～4年以内）での就職希望が多い傾向が見られます。一方、大卒フリーターの場合、中長期的な期間（1年以内、2年以内、3～4年以内）は多いですが、短期的な期間（3ヶ月以内、半年以内）の就職希望も少なくないです。高卒者より、大卒者の方が早い時期に正社員に就職したい傾向があります。

いつ頃までに正社員になりたいか
【高卒フリーター】



回答者数：156人

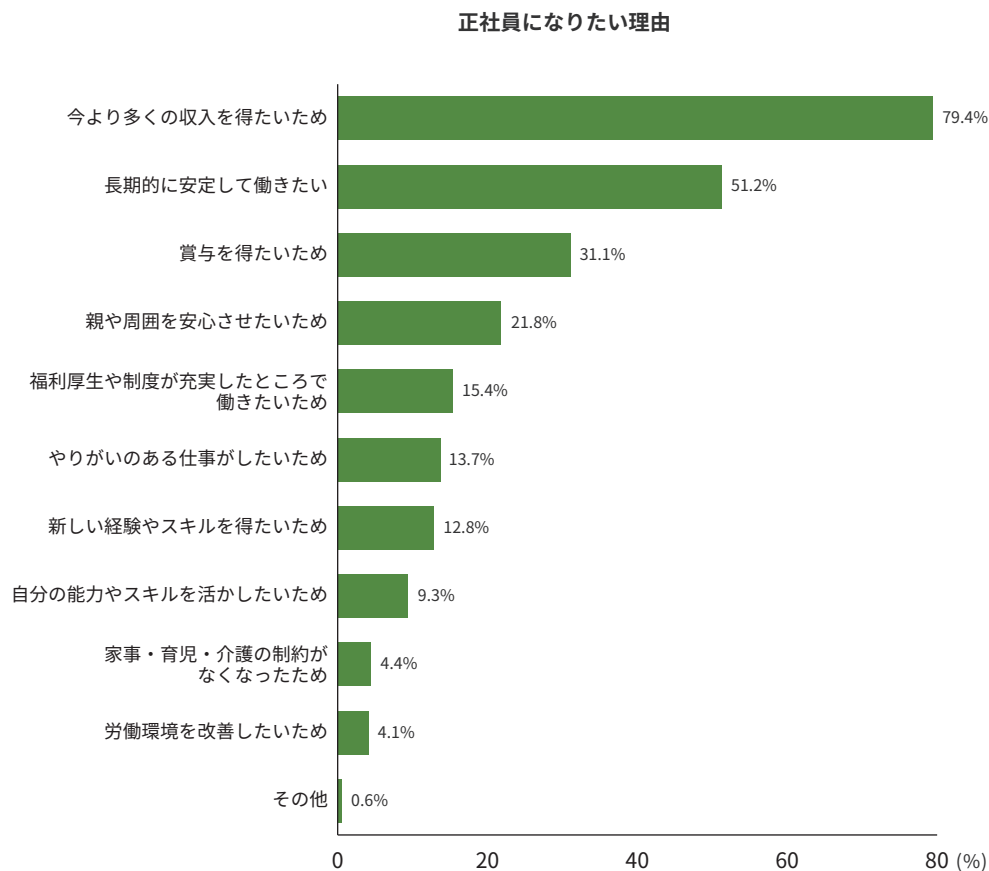
いつ頃までに正社員になりたいか
【大卒フリーター】



回答者数：188人

4-3. 正社員になりたい理由

将来的に正社員を希望するフリーターに対し、正社員になりたい理由を尋ねると、「今より多くの収入を得たいため」という回答が最多でした。ほかにも、「長期的に安定して働きたい」「賞与を得たいため」などが挙げられており、正社員だからこそ得られる報酬や制度など経済的・社会的な安定に魅力を感じる人が多いようです。



回答者数：344人（3つまで回答）

正社員になりたい理由【男女・学歴別】

男女別に見ると上位4つの回答に大きな違いはありませんでした。5位は男女で異なる回答で、男性では「新しい経験やスキルを得たいため」、女性では「福利厚生や制度が充実したところで働きたいため」がランクインしています。

学歴別に見ても、5位のみが異なる結果となりました。高卒では「福利厚生や制度が充実したところで働きたいため」、大卒では「やりがいのある仕事がしたいため」がランクインしています。

正社員になりたい理由

男性

- 1位
今より多くの収入を得たいため (76.7%)
- 2位
長期的に安定して働きたい (54.4%)
- 3位
賞与を得たいため (36.7%)
- 4位
親や周囲を安心させたいため (24.4%)
- 5位
新しい経験やスキルを得たいため (17.8%)

回答者数：90人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

女性

- 1位
今より多くの収入を得たいため (80.3%)
- 2位
長期的に安定して働きたい (50.0%)
- 3位
賞与を得たいため (29.1%)
- 4位
親や周囲を安心させたいため (20.9%)
- 5位
福利厚生や制度が充実したところで働きたいため (16.9%)

回答者数：254人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

高卒

- 1位
今より多くの収入を得たいため (78.2%)
- 2位
長期的に安定して働きたい (55.1%)
- 3位
賞与を得たいため (32.1%)
- 4位
親や周囲を安心させたいため (21.8%)
- 5位
福利厚生や制度が充実したところで働きたいため (16.0%)

回答者数：156人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

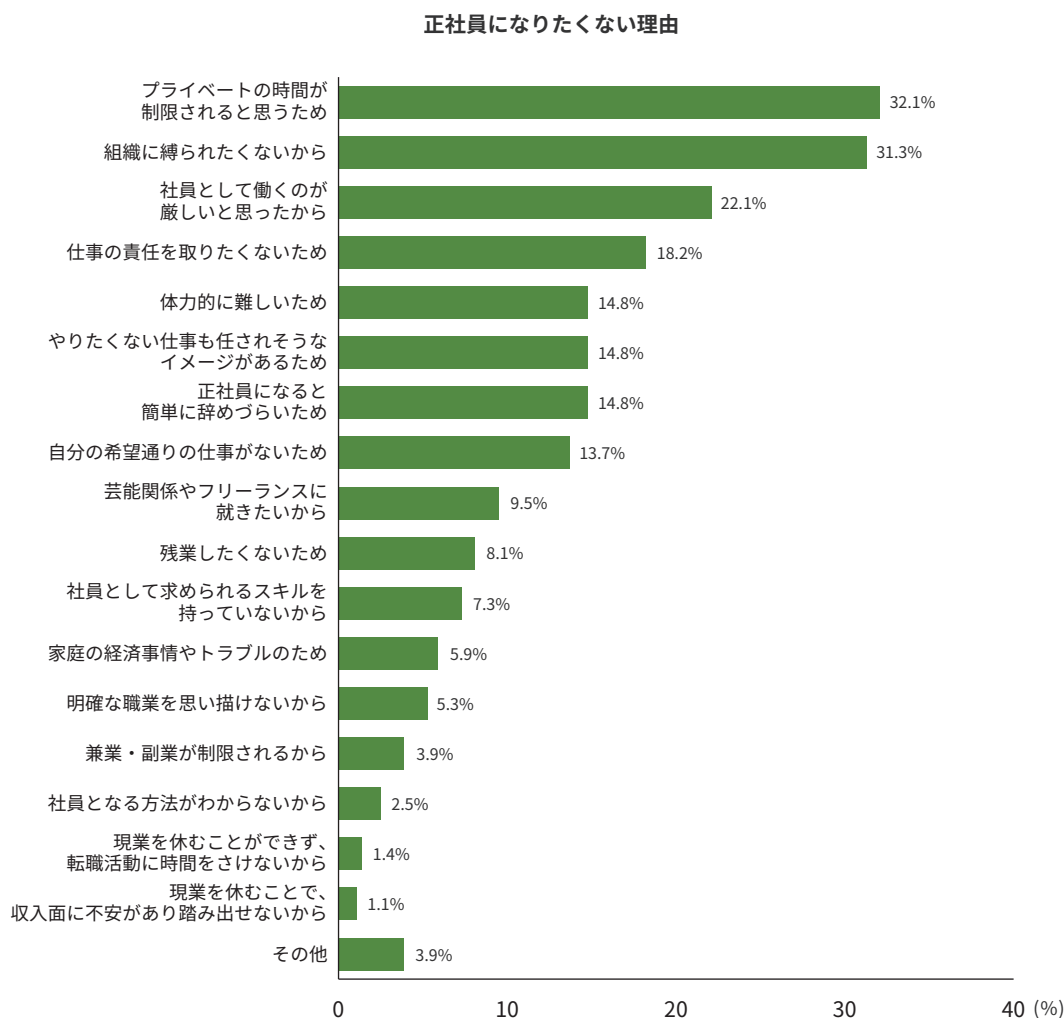
大卒

- 1位
今より多くの収入を得たいため (80.3%)
- 2位
長期的に安定して働きたい (47.9%)
- 3位
賞与を得たいため (30.3%)
- 4位
親や周囲を安心させたいため (21.8%)
- 5位
やりがいのある仕事がしたいため (18.6%)

回答者数：188人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

4-4. 正社員になりたくない理由

将来的に正社員になることを望まない人に対し、その理由を尋ねると下記の結果になりました。「プライベートの時間が制限されると思うため」や「組織に縛られたくない」など、自由度が下がることを懸念した回答が多く挙がっています。



回答者数：358人（3つまで回答）

正社員になりたくない理由【男女・学歴別】

正社員になりたくない理由を男女・学歴別に見ると以下のような結果となりました。いずれも「プライベートの時間が制限されると思うため」「組織に縛られたくないから」の割合が1位2位の結果となりました。

男女別に見ると、4位以下に違いが見られます。男性は仕事内容が正社員になりたくない要因としてランクインしているのに対し、女性は正社員の責任や辞めづらい雇用形態が要因となっています。

学歴別に見ると、高卒・大卒で大きな違いはないものの、1位と2位の順位が異なります。高卒は時間的な制約を、大卒は組織の拘束を懸念している割合が高い傾向です。

正社員になりたくない理由

男性

- 1位
組織に縛られたくないから (37.7%)
- 2位
プライベートの時間が制限されると思うため (26.2%)
- 3位
社員として働くのが厳しいと思ったから (19.7%)
- 4位
自分の希望通りの仕事がないため (16.4%)
- 5位
体力的に難しいため (14.8%)
- 5位
やりたくない仕事も任せられそうなイメージがあるため (14.8%)

回答者数：61人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

女性

- 1位
プライベートの時間が制限されると思うため (33.3%)
- 2位
組織に縛られたくないから (30.0%)
- 3位
社員として働くのが厳しいと思ったから (22.6%)
- 4位
仕事の責任を取りたくないため (19.2%)
- 5位
正社員になると簡単に辞めづらいため (16.2%)

回答者数：297人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

高卒

- 1位
プライベートの時間が制限されると思うため (35.8%)
- 2位
組織に縛られたくないから (28.5%)
- 3位
社員として働くのが厳しいと思ったから (19.7%)
- 4位
仕事の責任を取りたくないため (18.1%)
- 4位
やりたくない仕事も任せられそうなイメージがあるため (16.6%)

回答者数：193人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

大卒

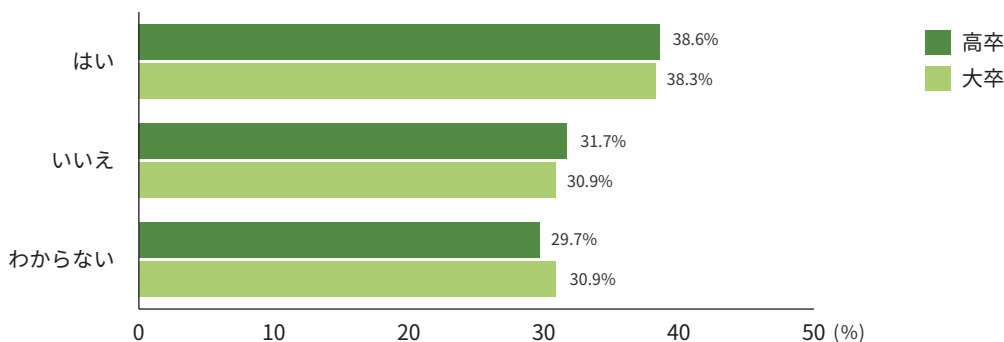
- 1位
組織に縛られたくないから (34.5%)
- 2位
プライベートの時間が制限されると思うため (27.9%)
- 3位
社員として働くのが厳しいと思ったから (24.8%)
- 4位
仕事の責任を取りたくないため (18.2%)
- 4位
体力的に難しいため (18.2%)

回答者数：165人 (3つまで回答)
※5位まで抜粋

4-5. 将来的に転職を検討しているか

現在、転職活動をしていない正社員に対し「将来的に転職を検討しているか」を尋ねると、高卒正社員・大卒正社員ともに検討していると回答した方は約4割という結果になりました。「4-1. 将来的に正社員を希望するか」で、高卒者と大卒者の間で就職意欲に違いが見られたのに対し、転職意欲には違いが見られません。

将来的に転職を検討しているか【正社員】

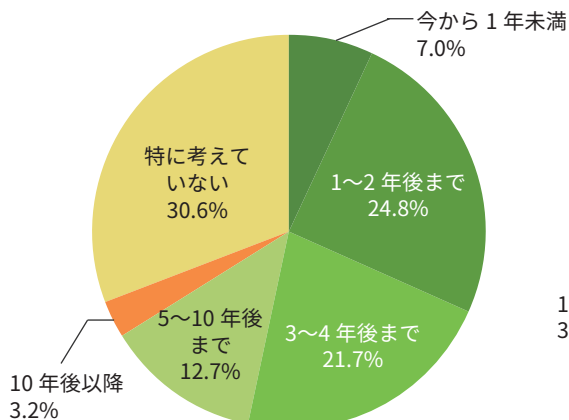


回答者数：高卒 407 人、大卒 379 人

4-6. いつ頃までに転職したいか

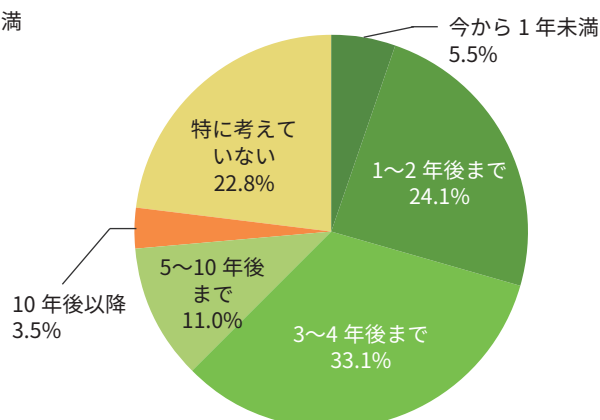
将来的に転職したいと回答した正社員に対し、いつ頃までに転職したいか尋ねると下記のような回答に。高卒正社員、大卒正社員いずれも、「特に考えていない」割合が高く、明確に転職時期を決めていない人が多いことがわかります。ただ、大卒正社員は、特に考えていない割合より、3～4年後までの計画を立てている割合が高く、転職を計画している傾向があります。

いつ頃までに転職したいか【高卒正社員】



回答者数：157 人

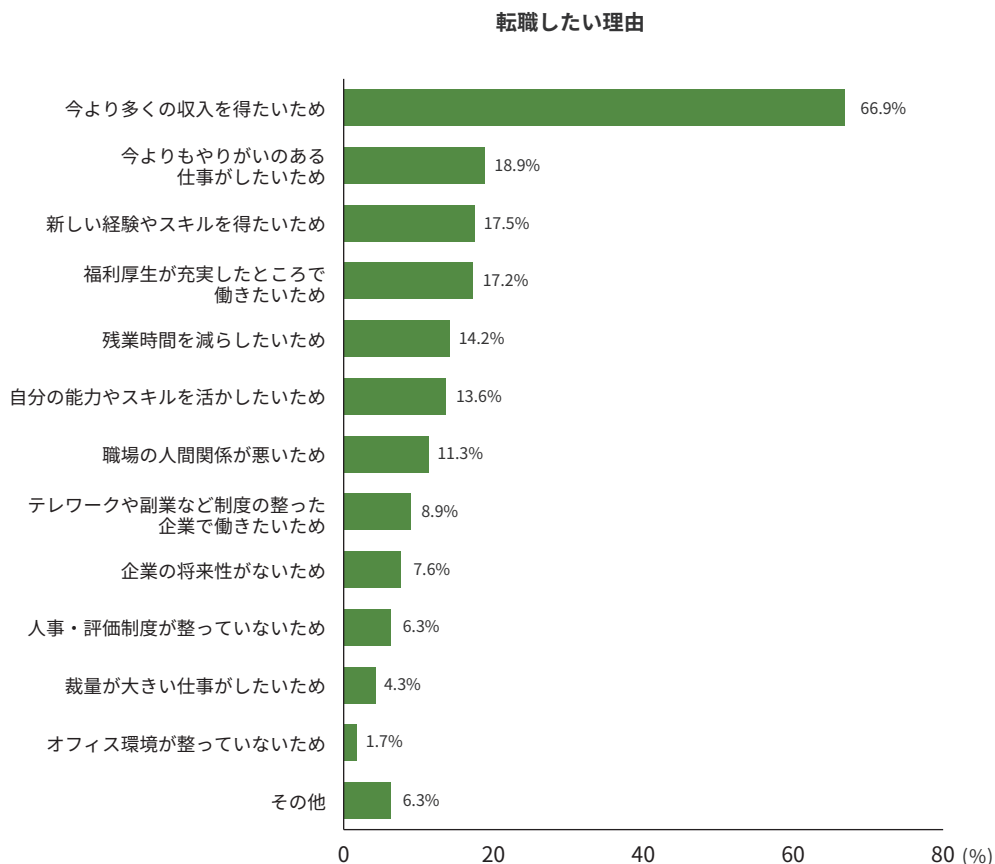
いつ頃までに転職したいか【大卒正社員】



回答者数：145 人

4-7. 転職したい理由

将来的に転職したい理由としては、フリーターの「4-3. 正社員になりたい理由」同様、「今より多くの収入を得たいため」が一番に挙がりました。ただ、正社員の場合、「今よりもやりがいのある仕事がしたいため」「新しい経験やスキルを得たいため」といった、仕事内容やキャリアに関連する項目も上位に挙げられています。



回答者数：302人（3つまで回答）

転職したい理由【男女・学歴別】

将来的に転職を考える理由を男女・学歴別に見ると以下のような結果になりました。いずれも「今より多くの収入を得たいため」が1位となっており、経済的な動機が転職を考える上で重要な要素であることがわかります。

男女別で見ると、男性においては2位に「新しい経験やスキルを得たいため」「自分の能力やスキルを活かしたいため」が挙がっており、個人のスキルアップやキャリアの向上を追求する意識が高いことがうかがえます。一方で、女性の2位は「今よりもやりがいのある仕事がしたいため」であり、働く中での満足感ややりがいが転職動機に影響していることがわかります。学歴別に見ると、高卒はやりがいを、大卒は福利厚生を求める割合が若干高いことがわかります。

転職したい理由

男性

- 1位
今より多くの収入を得たいため (69.4%)
- 2位
新しい経験やスキルを得たいため (22.4%)
- 3位
自分の能力やスキルを活かしたいため (17.2%)
- 3位
福利厚生が充実したところで働きたいため (17.2%)
- 5位
残業時間を減らしたいため (15.7%)

回答者数：134人（複数回答）

女性

- 1位
今より多くの収入を得たいため (64.9%)
- 2位
今よりもやりがいのある仕事がしたいため (22.0%)
- 3位
福利厚生が充実したところで働きたいため (17.3%)
- 4位
新しい経験やスキルを得たいため (13.7%)
- 4位
職場の人間関係が悪いため (13.7%)

回答者数：168人（複数回答）

高卒

- 1位
今より多くの収入を得たいため (67.5%)
- 2位
今よりもやりがいのある仕事がしたいため (20.4%)
- 3位
新しい経験やスキルを得たいため (16.6%)
- 4位
残業時間を減らしたいため (14.6%)
- 5位
福利厚生が充実したところで働きたいため (14.0%)

回答者数：157人（複数回答）

大卒

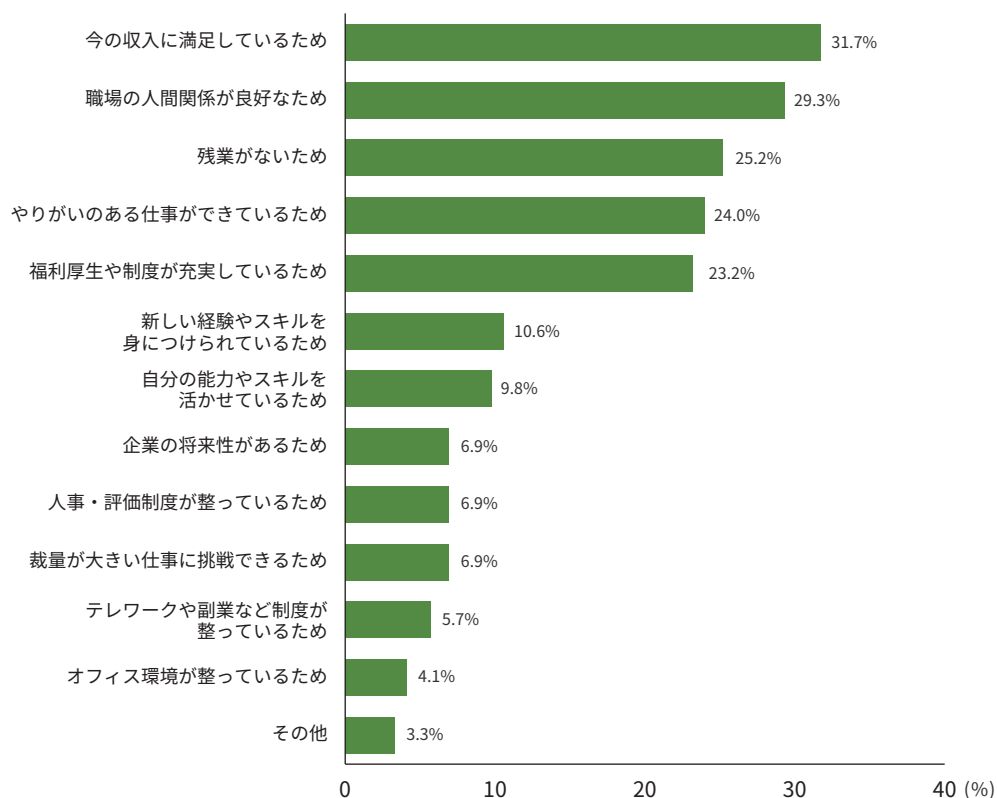
- 1位
今より多くの収入を得たいため (66.2%)
- 2位
福利厚生が充実したところで働きたいため (20.7%)
- 3位
新しい経験やスキルを得たいため (18.6%)
- 4位
今よりもやりがいのある仕事がしたいため (17.2%)
- 5位
自分の能力やスキルを活かしたいため (16.6%)

回答者数：145人（複数回答）

4-8. 転職したくない理由

将来的に「転職したくない」と回答した人の理由は、「今の収入に満足しているため」と「職場の人間関係が良好なため」が多い結果となりました。「4-6. 転職したい理由」では、収入面の不満が一番に挙げられていることから、収入が増減することは転職をする・しないの大きな判断基準となると考えられます。

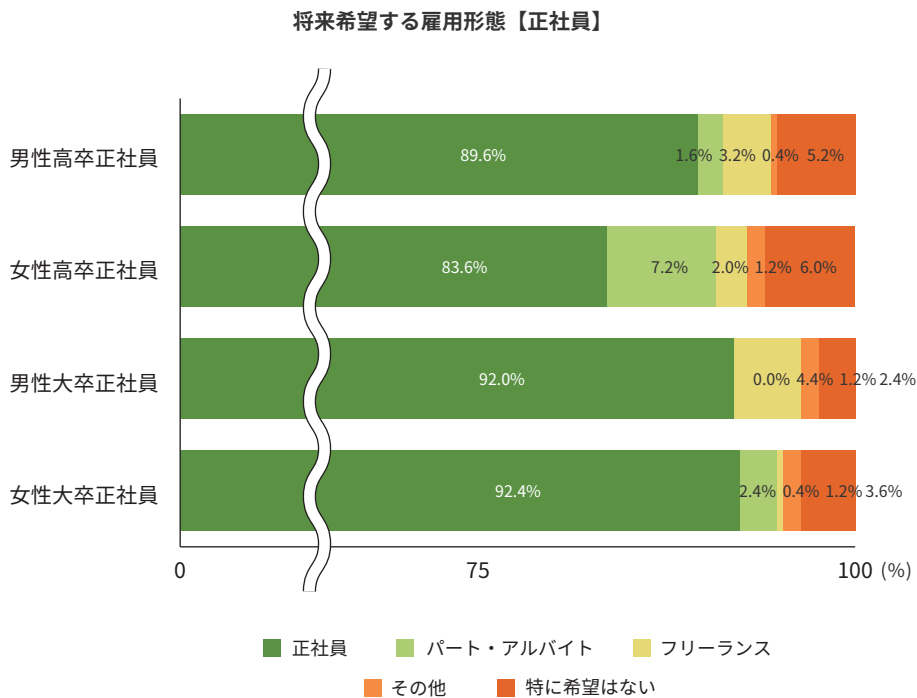
転職したくない理由【正社員】



回答者数：344人（3つまで回答）

4-9. 将来希望する雇用形態【正社員】

正社員に将来希望する雇用形態を聞いたところ、正社員と回答した割合が9割近くになりました。性別、学歴別に見ると、高卒女性では将来的に「パート・アルバイト」を希望する割合が他と比べて5ポイント程度高いです。また、フリーランスは近年増加傾向にありますが、将来的に希望する割合は5%未満となっています。



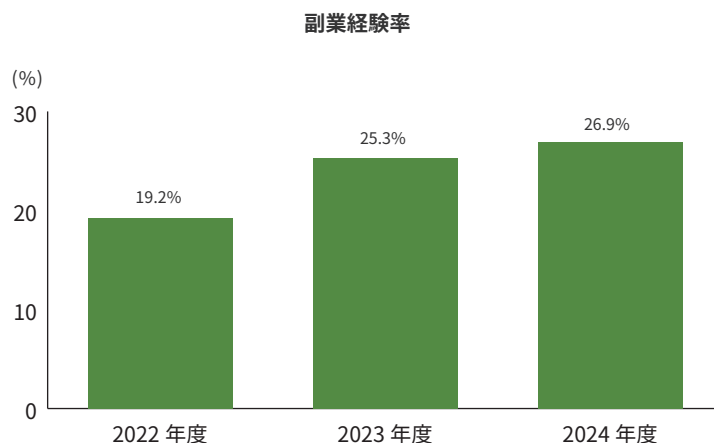
回答者数：各 250 人ずつ

05 副業状況について

5-1. 現在の副業状況について

正社員の現在の副業状況としては、「副業はしたことがある」が3割以下という結果に。2017年頃から働き方改革として政府が副業を推進しているとはいえ、実態としては就業規則で副業を禁止している企業も多く、そこまで浸透していないことが伺えます。

過去3年間の副業経験率を比較すると、前回の調査（25.3%）から上昇し、過去3年で最も高い水準となっています。年々副業する正社員は増加していることがわかります。



回答者数：2022年度・2024年度 1,000人、2023年度 1,096人

5-2. 副業の内容

現在副業している、もしくは過去にしたことがある人にその内容を尋ねると、本業のスキマ時間に対応できるような「懸賞・アンケートモニター」が1位に。次いで「営業・販売・サービス系」の仕事が19.3%という結果でした。

その他の回答としては、家事代行やエンジニア、飲食などの接客業が見られました。

副業の内容

- 1位 懸賞・アンケートモニター (20.4%)
- 2位 営業・販売・サービス系 (19.3%)
- 3位 投資・シェアビジネス (11.9%)
- 4位 オフィスワーク・事務系 (10.8%)
- 4位 軽作業・物流・工場 (10.8%)

回答者数：269人（複数回答） ※5位まで抜粋

副業の内容【男女別】

これを男女別で見ると、男女いずれも「懸賞・アンケートモニター」の割合は高いです。男性は「投資・シェアビジネス」、女性は「営業・販売・サービス系」も2位で副業として人気です。男女いずれにも「軽作業・物流・工場」がランクインしています。

副業の内容

男性	女性
1位 懸賞・アンケートモニター (19.7%)	1位 営業・販売・サービス系 (26.0%)
2位 投資・シェアビジネス (19.0%)	2位 懸賞・アンケートモニター (21.3%)
3位 営業・販売・サービス系 (13.4%)	3位 オフィスワーク・事務系 (14.2%)
4位 配達・ドライバー (12.7%)	4位 軽作業・物流・工場 (9.4%)
5位 軽作業・物流・工場 (12.0%)	5位 医療・介護・福祉・教育系 (7.9%)

回答者数：142人（複数回答）
※5位まで抜粋

回答者数：127人（複数回答）
※5位まで抜粋

5-3. 副業する理由

現在副業している、もしくは過去に副業したことがある人に副業の理由を尋ねると、「趣味などに充てる副収入を得たいから」が1位。2位・3位も収入に関する理由が続いています。また、将来に備えて副業している人も一定数いることがわかりました。「副業＝月収を補填するもの」と認識している人が多いことがわかります。

副業する理由

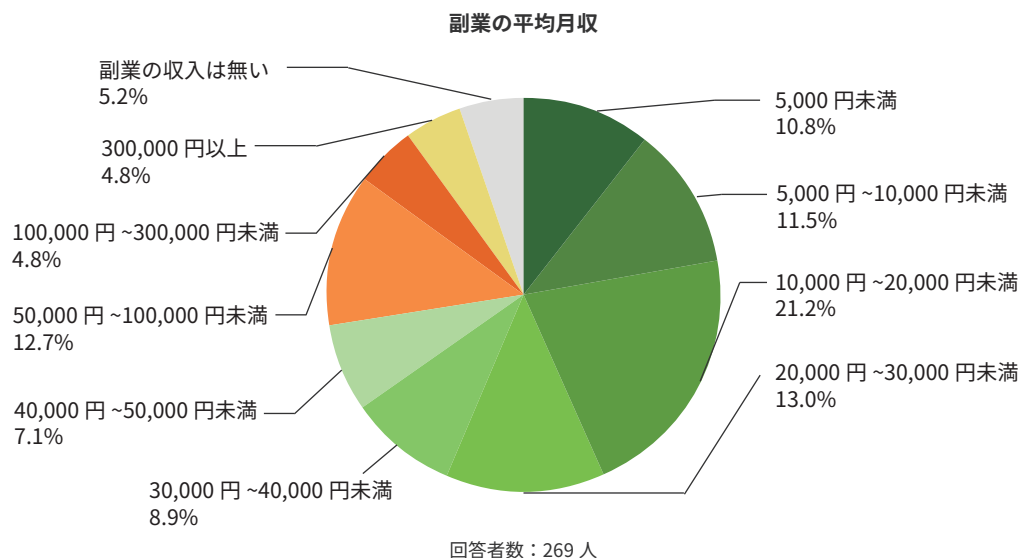
- 1位 趣味などに充てる副収入を得たいから (45.0%)
- 2位 本業の収入だけでは生活するうえで不十分だから (32.0%)
- 3位 本業の収入だけでは将来的な不安があるから (28.6%)
- 4位 時間にゆとりがあるから (17.5%)
- 5位 自分のスキルを伸ばしたり、経験を得たりしたいから (16.4%)

回答者数：269人（複数回答） ※5位まで抜粋

5-4. 副業の平均月収

副業経験がある人の、副業の平均月収は下記の結果となりました。10,000円から20,000円未満の回答が最多で、30,000円未満が全体の約56.5%を占めています。わずかながらでも追加の収入を得るために副業を行っている人が多いです。

一方で副業で月に50,000円以上の収入を得ている人々も22.3%と一定数存在しています。なかには、副業で100万円以上の収入があると回答した方も存在し、20代の平均月収を越える本格的な収入を、副業で得ている方がいることがわかりました。



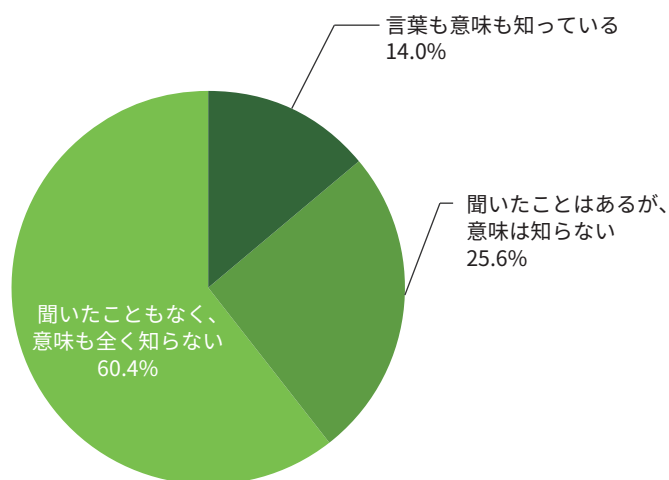
06 リスキリングについて

6-1. リスキリングの認知度

リスキリングの認知度についての結果は下記のようにになりました。「リスキリング」という言葉を聞いたことあると回答した割合は39.6%で、6割以上のフリーター・社会人が聞いたことがないと回答。フリーター・正社員別に見ると、正社員の方が10pt程度リスキリングの意味を知っていると回答した割合が高いです。

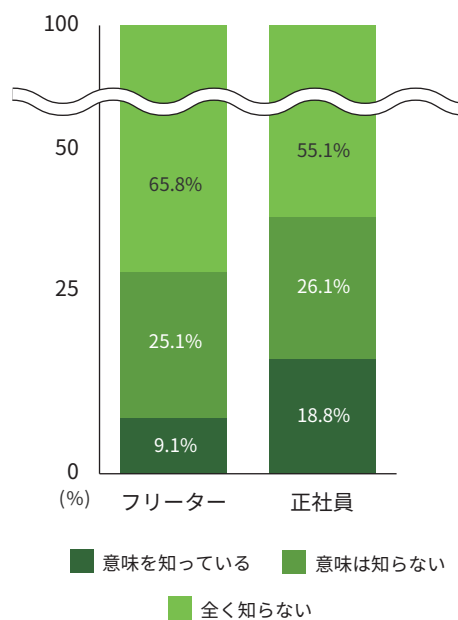
経済産業省は、2023年度からリスキリングを通じたキャリアアップ支援事業を開始することを発表するなど、国としてリスキリングの推進に力を入れています。一方で、リスキリングの「言葉も意味も知っている」と回答した割合は2割未満に留まり、20代のリスキリングの浸透率の低さが明らかになりました。

リスキリングの認知度



回答者数：2,000人

リスキリングの認知度【雇用形態別】

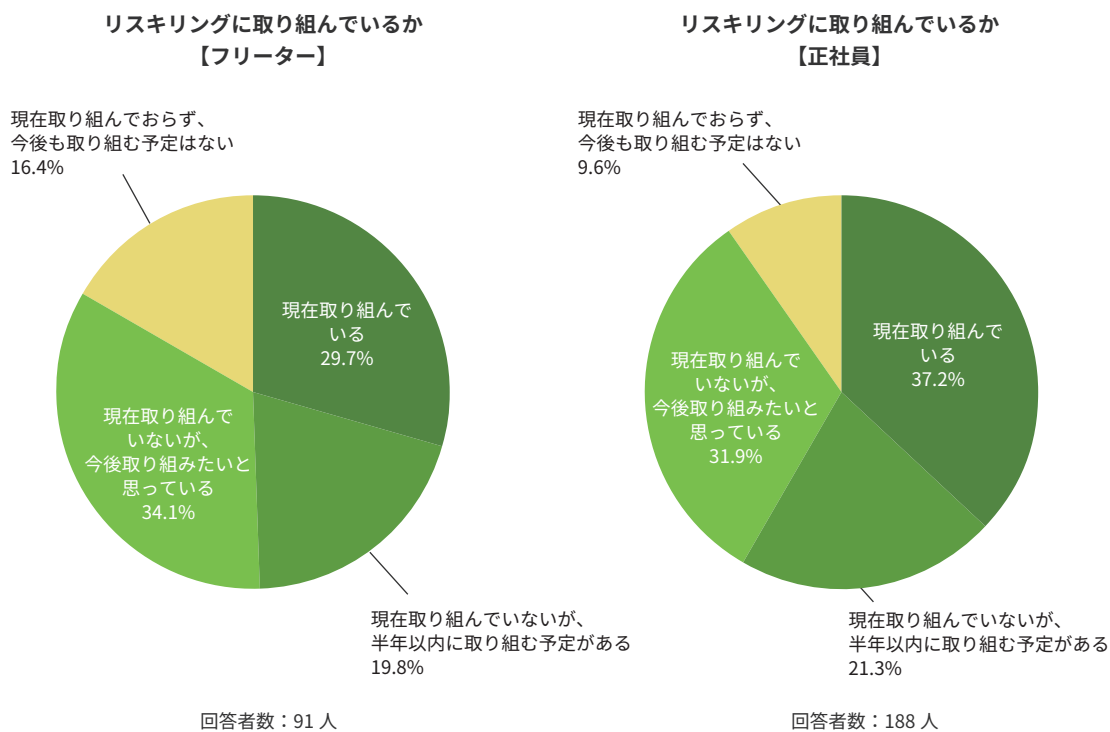


回答者数：フリーター1,000人、正社員1,000人

6-2. リスキリングに取り組んでいるか

「リスキリングの意味を知っている」と回答した人に対し「リスキリングに取り組んでいるか」聞いたところ、次のような結果になっています。「現在取り組んでいる」「現在取り組んでいないが、半年以内に取り組む予定がある」「現在取り組んでいないが、今後取り組みたいと思っている」という取り組みに関心を持つ回答が、フリーターは83.6%なのに対し正社員は90.4%と、正社員のほうがリスキリングに対して前向きに捉えていることがわかります。

20代のリスキリングの認知度は低いものの、知っている人の中ではフリーターでも3人に1人が実際に取り組んでいるなど、理解や知識がある人はリスキリングに取り組むことに前向きな人が多いことが見受けられました。

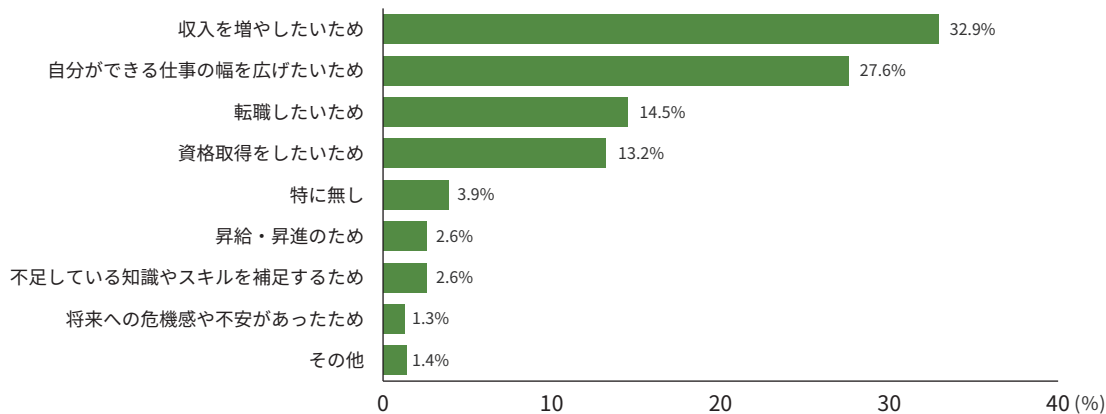


6-3. リスキリングに取り組む理由

リスキリングの意味を知っており、且つ、現在リスキリングに取り組んでいる、もしくは今後取り組む予定がある人にその理由を尋ねると、フリーター・正社員どちらも「収入を増やしたいため」が最多でした。次いで、「自分ができる仕事の幅を広げたいため」と続きます。

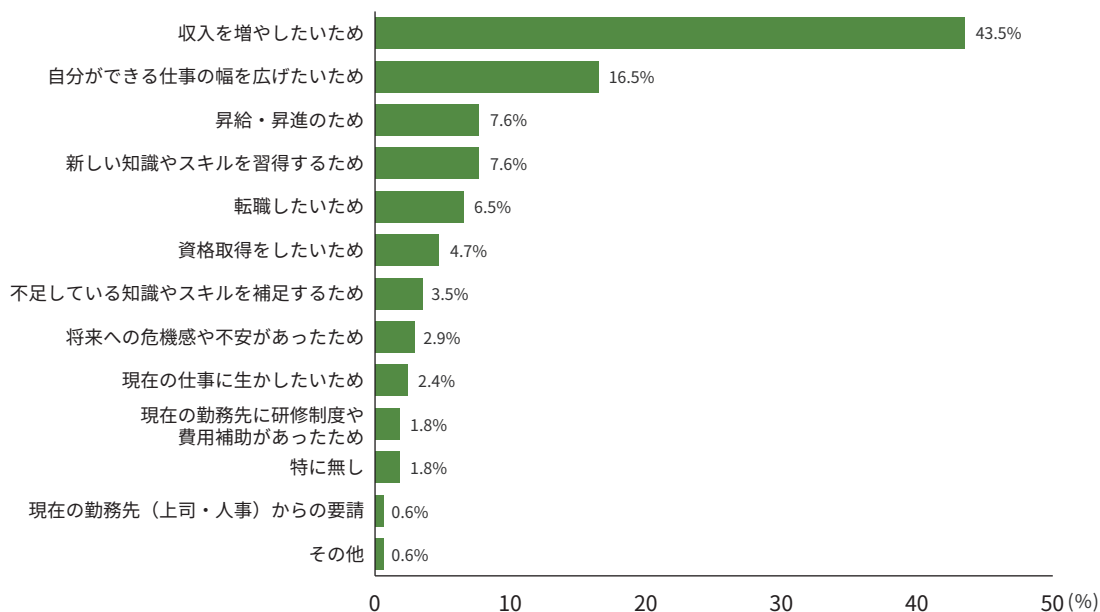
正社員の3位には「昇給・昇進のため」がランクインしており、政府がリスキリングの取り組みを推奨していることを受けて従業員のリスキリングへの取り組みに力を入れている企業が一定数存在するようです。

リスキリングに取り組む理由【フリーター】



回答者数：76人

リスキリングに取り組む理由【正社員】



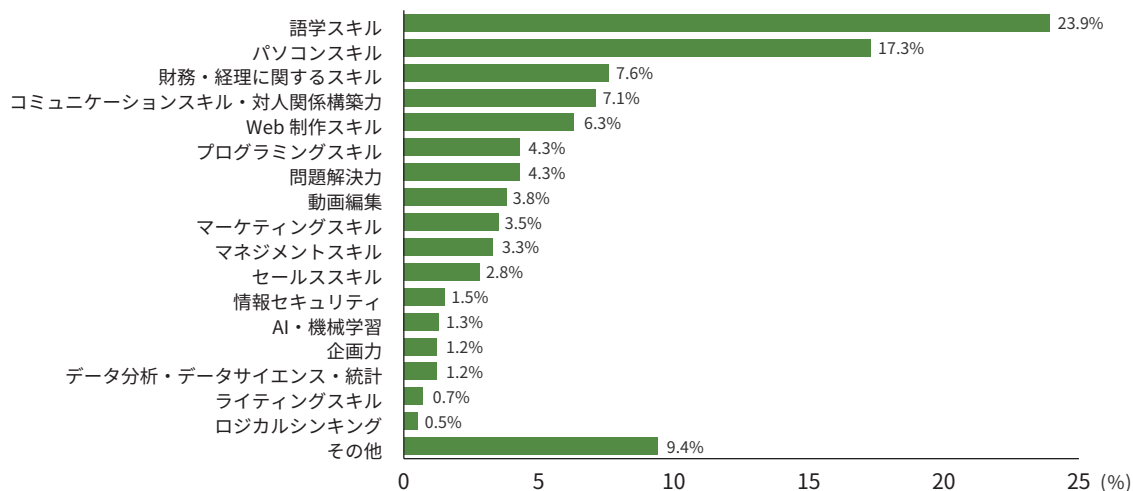
回答者数：170人

6-4. リスキリングで身につけたいスキル

新しい知識やスキルを学ぶことをこれ以降「リスキリング」と定義した上で、リスキリングで最も身につけたいスキルを聞いたところ、フリーター・正社員ともに、「語学スキル」「パソコンスキル」といった、どのような仕事でも活用できるポータブルスキルが選ばれています。また「プログラミングスキル」や「動画編集」など副業やフリーランスとして働きやすい仕事も注目されています。

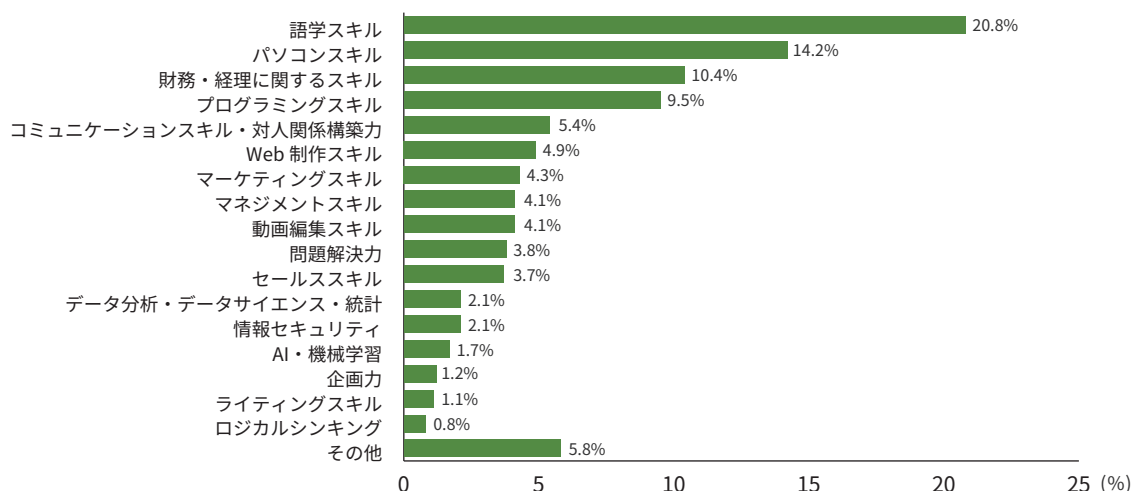
「その他」の回答としては、「保育士」「理学療法士」「電気工事士」「調理師」など、資格が必要な職業のための資格を取得したいとの回答が見られました。

リスキリングで身につけたいスキル【フリーター】



回答者数：607人

リスキリングで身につけたいスキル【正社員】



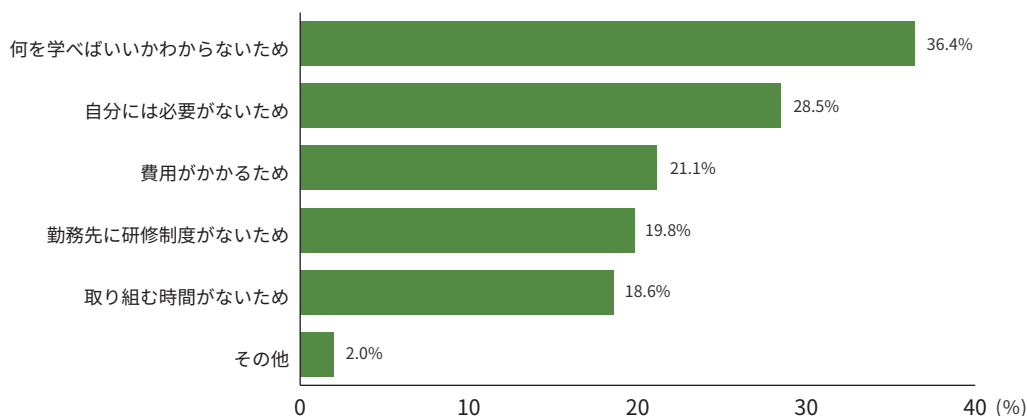
回答者数：654人

6-5. リスキリングに取り組んでいない理由

リスキリングに「現在取り組んでおらず、今後も取り組む予定はない」と回答した人に、その理由を尋ねると、フリーターも正社員も「何を学ばばいいかわからないため」がもっとも多い結果となっています。また、リスキリングの必要性を感じていないこともリスキリングに取り組んでいない理由として挙げられています。

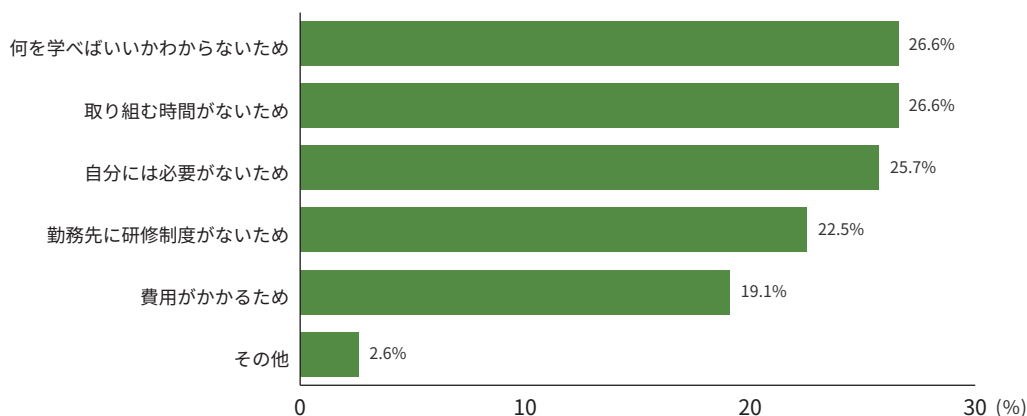
フリーター・正社員別で見ると、「取り組む時間がないため」と回答した割合に違いがみられ、正社員の方が回答している割合が8pt程度高いです。

リスキリングに取り組んでいない理由【フリーター】



回答者数：393人（複数回答）

リスキリングに取り組んでいない理由【正社員】

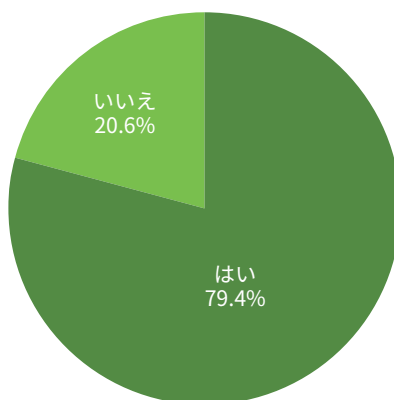


回答者数：346人（複数回答）

6-6. リスキリングに取り組んでよかったこと

リスキリングに取り組んだことのあるフリーター・正社員に、リスキリングを行ってよかったと思うかについて聞いたところ、約8割がリスキリングに取り組むことにメリットを感じていることがわかりました。

リスキリングに取り組んでよかったと思うか



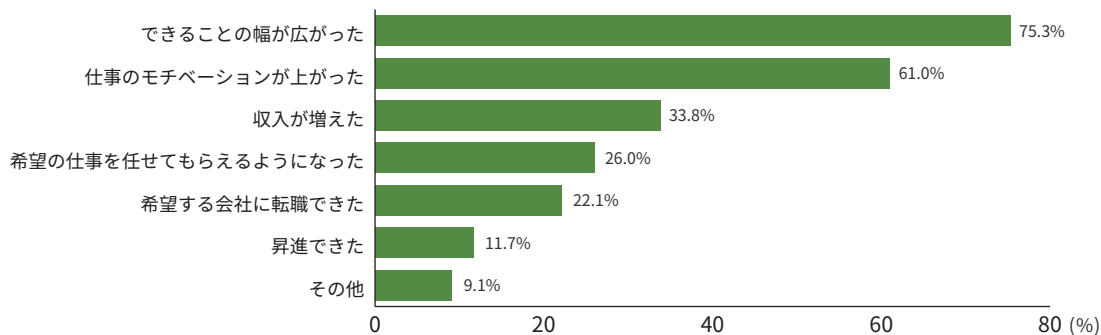
回答者数：97人

リスキリングに取り組んでよかったこと

リスキリングに取り組んで良かったと感じたことがあったフリーター・正社員に、その内容を聞くと下記のような結果となりました。

「6-3. リスキリングに取り組む理由」では、経済的な理由からリスキリングに取り組む割合が1番高かったのに対し、実際によかったと感じたことは「できることの幅が広がった」が最多でした。「収入が増えた」と回答した割合は33.8%で、「できることの幅が広がった」や「仕事のモチベーションが上がった」という収入ではない面でのメリットを感じる割合の方が高い結果となりました。

リスキリングに取り組んでよかったこと



回答者数：77人

若者しごと白書 2024

<調査概要>

調査目的：18歳～29歳のフリーター・正社員の働き方・キャリア観の把握

調査期間：2023/11/22～2023/11/27

調査方法：インターネット調査

調査対象：2023年11月時点で満18歳～29歳のフリーター、正社員男女

集計対象：2000人

<集計対象男女内訳>

高卒フリーター 男性：105人

高卒フリーター 女性：401人

高卒正社員 男性：250人

高卒正社員 女性：250人

大卒フリーター 男性：105人

大卒フリーター 女性：389人

大卒正社員 男性：250人

大卒正社員 女性：250人

発行年：2024年2月

発行：レバレッジズ株式会社 ハタラクティブ